LG
Life's Good

取扱説明書
LGデジタルサイネージ
(サイネージモニター)

このたびはLGサイネージモニター製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、
ご理解のうえ正しくお使いください。
お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

32SE3B　32SE3KB　43SL5B
43SE3B　43SE3KB　49SL5B
49SE3B　49SE3KB　55SL5B
55SE3B　55SE3KB
65SE3B　65SE3KB

www.lg.com/jp

Copyright © 2017 LG Electronics Inc.
All Rights Reserved.

日本語

目次

3 安全上の注意事項

3 モニター設置時の注意事項
4 ACアダプタと電源に関する注意事項
5 モニター移動時の注意事項
5 モニター使用時の注意事項
6 壁面への取付け

7 ライセンス

8 組み立てと準備

8 付属品
9 オプション品
11 各部名称とボタン
13 スタンドの設置
14 スピーカーの接続
15 IRレシーバーの使用
16 ポートレートレイアウト
17 LGロゴのブラケットの取り付けと取り外し
18 壁への取り付け

20 リモコン

22 入力ポートに接続された機器名の表示
22 ホワイトバランスの調整
23 映像IDの使用

24 接続

24 PCへの接続
26 外部機器接続

29 モニターの使用

29 入力切換の使用
29 画面サイズ設定の調整

31 エンターテイメント

31 ネットワークの使用
31 - ネットワークへの接続
33 - ネットワーク状態
33 マイメディアの使用
33 - USBストレージデバイスの接続
35 - ファイルの参照
37 - 動画の表示
40 - 写真の表示
42 - 音楽の再生
44 - コンテンツー覧の表示

45 設定のカスタマイズ

45 メインメニューへのアクセス
46 - [映像]設定
50 - [音声]設定
51 - タイマー設定
52 - 機器設定
55 - [ネットワーク]設定

56 トラブルシューティング

58 製品仕様

70 IRコード

72 複数のモニターを制御するには

72 ケーブルの接続
73 RS-232C構成
73 - 4Pケーブル
73 - RS-232Cケーブル
73 通信パラメータ
74 コマンドリファレンスリスト
76 送受信プロトコル

警告 - この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。
VCCI－A

安全上の注意事項

モニターをご使用になる前に以下の「安全上の注意事項」をよくお読みください。

⚠警告
この警告事項を守らないと、思わぬ大けがや大事故につながるの可能性があります。

⚠注意
この注意事項を守らないと、けがや製品の損傷の可能性があります。

⚠警告

- 本機は室内用です。室外では絶対に、設置使用しないでください。

モニター設置時の注意事項

⚠警告

- 電気ストーブなどの熱源から遠ざける。
  ▶感電、火災、故障または変形の原因となります。
- 乾燥剤やビニール製パックを子供の手のとどかない場所に置く。
  ▶乾燥剤を飲み込むと危険です。誤って飲み込んでしまった場合は、吐き出させ、すぐに病院に連れて行ってください。また、ビニール製パックは窒息の原因になることがあります。お子様の手のとどかない場所に保管してください。
- モニターの上に重い物をのせたり、座ったりしない。
  ▶モニターが倒れたり、落下すると、けがの原因となります。お子様には特に注意を払ってください。
- 電源ケーブルや信号ケーブルを人の通り道に出さない。
  ▶足を引っかけて、感電、火災、製品の故障やけがの原因となることがあります。
- モニターは整頓されて乾燥した場所に設置する。
  ▶ほこりや湿気は、感電、火災や製品の故障の原因となります。
- 煙が出たり、臭いや異常音を感じた場合は、電源コードを取り外しカスタマーセンターに連絡する。
  ▶適切な処置をせずに使用し続けると、感電や火災の原因となります。
- モニターを落下させたり損傷させてしまった場合は電源を切り、電源コードを取り外しカスタマーセンターにご連絡下さい。
  ▶適切な処置をせずに使用し続けると、感電や火災の原因となります。
- 製品の上に物を落としたり、製品に衝撃を与えたりしないでください。
  ▶画面に物をぶつけたり、衝撃を与えないでください。けがをしたり、製品が故障したり、画面が破損することがあります。
- モニターを外部機器に接続するとき、倒したり落としたりしないようにしてください。
  ▶けがやモニターの破損につながる恐れがあります。
- モニターをゲーム機器に接続するときは、モニターと機器の間を画面の対角線の 4 倍以上離してください。
  ▶ケーブルが短いためにディスプレイが倒れると、けがやモニターの破損につながる恐れがあります。
- 長時間同じ静止映像を表示させない。
  ▶動きのない映像を長時間表示させると、画面が焼付く可能性があります。スクリーンセーバー等を使用して、同じ画像を長時間表示させないようにしてください。画面の焼き付きは保証の対象外となります。
- 油や油煙にさらされる可能性がある場合は、本製品を壁に取り付けないでください。
  ▶製品が損傷したり、落下する原因となります。
- アース線の接地は電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、コンセントから抜く場合は、電源プラグを抜いてからアース線を取り外してください。
- 本機器は電源プラグを遮断装置として使用してます。設置した後、コンセントの抜き差しが問題なくできるかどうかを確認してください。
- ユニットに付属の電源コードのみを使用してください。電源ケーブルに不具合や破損がある場合は、カスタマーセンターにご相談ください。
- 乾電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。
- バッテリーは太陽光や炎などの過度の熱に晒さないでください。

⚠ 注意

- モニターの通風孔をふさがない。モニターを十分広い場所（壁から 10cm 以上離すこと）に設置する。
  - ▶ モニターを壁に近づけすぎると、内部の熱によって変形や火災の原因となることがあります。
- モニターの通風孔をテーブルクロスやカーテンでふさがない。
  - ▶ モニター内部の過熱によって変形や火災の原因となることがあります。
- 落下の恐れのない平らで安定した場所に設置する。
  - ▶ モニターが落下すると、けがをしたり、モニターが破損する原因となります。
- モニターは電波妨害（EMI）のない場所に設置する。
- モニターに直射日光があたらないようにする。
  - ▶ モニターが故障する原因となります。

ACアダプタと電源に関する注意事項

⚠ 警告

- 製品（TV、モニター、電源コード、ACアダプタ）の内部に水などの異物が入った場合、すみやかに電源コードを抜いてカスタマーセンターにご相談ください。
  - ▶ 製品が損傷し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグやACアダプタに触れないでください。ピンやプラグが濡れていたり、ほこりが付着したりしている場合は、ほこりを拭き取り、水気を乾かしてください。
  - ▶ そのまま使用すると、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードはACアダプタに完全に差し込んでください。
  - ▶ コードがきちんと差し込まれず、接続が不完全な場合、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードやACアダプタは、必ずLG Electronics, Inc.が提供、もしくは認証したものを使用してください。
  - ▶ 認証されていない製品の使用は、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグ部分を持って引き抜いてください。強い力をかけて、電源コードを曲げないでください。
  - ▶ 電源ケーブルが損傷し、感電や火災の原因となることがあります。
- 電源コードやACアダプタの上に乗ったり、重いもの（家電製品、衣類など）を乗せたりしないでください。電源コードやACアダプタを鋭利なもので傷つけないよう注意してください。
  - ▶ 電源コードに損傷は、火災や感電の原因となる恐れがあります。
- 電源コードやACアダプタを分解、修理、改造しないでください。
- 電源ケーブルは必ずアース接地のあるコンセントに接続する。
  - ▶ 感電ややけどの原因になります。
- 範囲内の電圧で使用する。
  - ▶ モニターの損傷や、感電の原因になります。
- 雷が鳴っていたり稲妻が光っている間は、電源コードや信号ケーブルには絶対に触れないでください。感電する可能性があり、非常に危険です。
- 同一のコンセントにいくつもの延長コード、電気製品や電気ストーブを接続しない。コンピュータ専用のアース端子のある電源タップを使用する。
  - ▶ 過熱によって火災の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグにさわらない。また、電源プラグがぬれていたり、ほこりが付着している場合は、完全に乾かし、ほこりを取り除く。
  - ▶ 水分によって、感電の原因となることがあります。
- 長期間使用しない場合は、電源ケーブルをモニターから抜く。
  - ▶ ほこりの付着によって火災の原因となったり、絶縁劣化によって漏電や感電、火災の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを確実に接続する。
  - ▶ 電源ケーブルが確実に接続されていないと、火災の原因となることがあります。
- 電源ケーブルが壁のコンセントに接続されているときに、電源ケーブルのもう一端に通電物（ヘアピンなど）を差し込まない。
  - ▶ 感電の原因になります。
- 主電源ブレーカは電源ケーブルに接続してください。このブレーカは操作しやすい場所に置いてください。
- 本体が壁のコンセントに接続されているときは、本体の電源スイッチを切っても、電源は接続状態になっています。

- アース接続は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行って下さい。又、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行って下さい。
- 本機器は電源プラグを遮断装置として使用しております。設置した後、コンセントの抜き差しが問題なくできるかを確認してください。
- 付属の電源コードのみを使用してください。電源ケーブルに不具合や破損がある場合は、カスタマーセンターに交換を依頼してください。
- 乾電池を火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- 乾電池は、極端な温度条件下で保管しないでください。
- バッテリーは太陽光や炎などの過度の熱に晒さないでください。

⚠ 注意

- コンセント、ACアダプタ、電源コードの端子を、汚さないように注意してください。
  - ▶ 火災の原因となるおそれがあります。
- モニターの使用中に電源コードを取り外さない。
  - ▶ 電気ショックによってモニターが損傷することがあります。

モニター移動時の注意事項

⚠ 警告

- モニターの電源を必ず切る。
  - ▶ 感電やモニターの損傷の原因になります。
- モニターを移動する前に、すべてのケーブルを取り外す。
  - ▶ 感電やモニターの損傷の原因になります。
- パネルが前向きになっていることを確認し、両手で持ちながら動かしてください。 製品を落下させると、製品が破損し、感電や火災の原因となる場合があります。 修理をご希望の場合は、カスタマーセンターまでご連絡ください。
- 製品のスイッチが切られていること、コンセントが抜かれていること、すべてのケーブル類が取り外してあることを確認してください。大型装置の場合は、2人以上で運搬する必要がある場合もあります。装置前面のパネルを押したり、圧力をかけたりしないでください。

⚠ 注意

- 移動時にモニターに衝撃を与えない。
  - ▶ 感電やモニターの損傷の原因になります。
- 製品の梱包箱を廃棄せず、移動時には梱包箱を使用する。
- パネル面を上向きにし、両手で持って移動する。
  - ▶ モニターを落下させてしまった場合、モニターの損傷によって感電や火災の原因となることがあります。修理については、カスタマーセンターにご連絡ください。

モニター使用時の注意事項

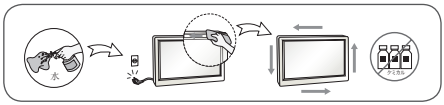
⚠ 警告

- モニターの分解、修理や改造を行わない。
  - ▶ 火災や感電などの事故の原因となります。
  - ▶ 点検、調整、修理については、カスタマーセンターにご連絡ください。
- 長期間に渡ってモニターを使用せずに放置する場合は、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。
- モニターを水のある場所から遠ざける。
  - ▶ 火災や感電などの事故の原因となります。
- スクリーンの前面や側面を金属で傷つけたり、衝撃を与えたりしないこと。
  - ▶ 傷をつけたり衝撃を与えたりすると、スクリーンが破損する恐れがあります。
- 高温・高湿は避けてください。

⚠ 注意

- モニターの近くに引火性物質を置かない。
  - ▶ 引火性物質の不注意による扱いによって爆発や火災の危険性があります。
- 製品のお手入れをするときは、電源コードを抜き、傷がつかないように柔らかい布でやさしく拭いてください。お手入れのときには、ぬれた布を使用しないでください。また、噴霧器の水または他の液体を製品に直接吹きかけないでください。 感電することがあります。（ベンゼン、ペイント用のシンナー、アルコール等の化学薬品を使用しないでください）
- 目を疲れさせないよう、ときどき休憩を取る。
- モニターは常に清潔に保つ。
- モニター使用時は、身体がリラックスした状態で作業できるように、楽で自然な姿勢をとる。

- 長時間モニターを使用する際は、一定時間ごとに休憩を取る。
- 手やとがった物（爪、鉛筆、ペンなど）でパネル上を強い力で押したり、引っかいたりしない。
- モニターから適切な距離を保つ。
  ▶ モニターを間近から見続けると、目に悪い影響を与えることがあります。
- ユーザーズマニュアルを参照して、適切な解像度とクロック数を設定する。
  ▶ 目に悪い影響を与えることがあります。
- モニターをクリーニングする際は、専用のクリーニング剤を使用する（ベンゼン、シンナー、アルコールを使用しないこと）。
  ▶ モニターを傷める原因となります。
- 電池は高温の場所に置かないでください。たとえば、直射日光のあたる場所や暖炉のそば、電気ヒーターのそばなどは避けてください。
- 充電器には再充電できない電池は取り付けないでください。
- 製品を水滴や水しぶきにさらさないでください。また、花瓶、カップなどの液体が入ったものを製品の上（製品の上の棚など）に置かないでください。
- ヘッドフォンやイヤフォンを長時間使用したり、音声を大音量で聞いたりすると、聴力の低下を起こす危険性があります。
- 柔らかい布に水を2～4回吹き付け、フレーム前面を拭いてください。一方向のみに拭くようにしてください。



- モニターの周りで高電圧の機器を使用しないでください。
  ▶ 電磁的な影響によりモニターが誤作動を引き起こす可能性があります。

壁面への取付け

- お客様ご自身でこの製品の取り付けは行わないでください。メーカーが資格を与えたサービス技術者にご連絡ください。損傷の原因となる恐れがあります。

日本語

ライセンス

サポートされるライセンスの種類は、モデルによって異なる場合があります。 ライセンスの詳細については、*www.lg.com/jp*をご参照ください。

HDMIとHDMI High-Definition Multimedia Interface用語およびHDMIロゴは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。

このDivX Certified®機器は、DivX®ビデオを再生可能であることを保証する厳格なテストに合格しています。
購入したDivXムービーを再生するには、まず*vod.divx.com*で機器を登録してください。 登録コードは、機器のセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。
プレミアムコンテンツを含め、HD 1080pまでのDivX®ビデオを再生できる、DivX Certified®を取得済みです。
DivX®、DivX Certified®、および関連ロゴは、DivX, Inc.の商標であり、ライセンス供与に従って使用されます。
次の米国特許の1つまたは複数によって保護されています：
7,295,673; 7,460,668; 7,515,710; 7,519,274

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

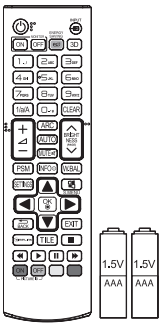
ヒント

- 製品の移動や設置場所の変更に起因する製品の損傷については、保証対象外となります。
- 本製品を極端にほこりの多い場所で使用することにより発生する損傷は、保証の対象には含まれておりません。

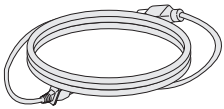
組み立てと準備

付属品

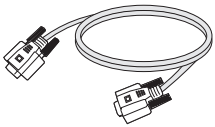
箱の中身を確認してください。 付属品が不足している場合は、製品を購入した販売店にお問い合わせください。 実際の製品および付属品の外見は、この取扱説明書にある図とは異なることがあります。



リモコン、
電池（単四形）2 本



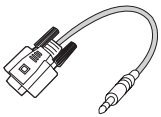
電源コード
(1.55 m)



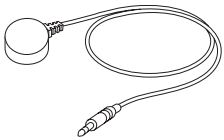
D-sub 15ピン
信号ケーブル (1.5 m)



ガイドと保証書



RS-232Cジェンダー



IRレシーバー

注意

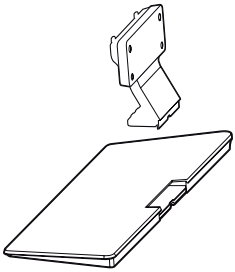
- 安全性および製品の性能を保証するために、必ず正規の付属品をご使用ください。
- 付属品以外の使用により発生した損害やけがは、本製品の保証の対象には含まれておりません。

ヒント

- 製品の付属品はモデルによって異なります。
- 製品仕様または取扱説明書の内容は、製品の機能をアップグレードするために事前の通告なしに変更されることがあります。
- SuperSignソフトウェアとマニュアル (SuperSign W : V3.1.1.0)
  - LG ElectronicsのWebサイトからのダウンロード
  - LG ElectronicsのWebサイト（*http://partner.lge.com*）にアクセスし、お使いのモデルに合った最新のソフトウェアをダウンロードしてください。

オプション品

製品の性能向上のために、事前の通告なしにオプションの部品の変更や新しい付属品の追加が行われることがあります。 実際の製品および付属品の外見は、この取扱説明書にある図とは異なることがあります。



スタンド

ST-322T	32SE3*
ST-432T	43SE3*/43SL5B
ST-492T	49SE3*/55SE3* 49SL5B/55SL5B
ST-652T	65SE3*



スタンドス
ペーサー

32SE3*	-
43SE3* 43SL5B	2 本
49SE3* 49SL5B	
55SE3* 55SL5B	
65SE3*	



ネジ
直径4.0 mm x ピッチ0.7 mm

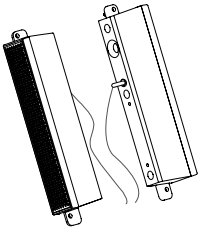
モデル	長さ（スプリングワッシャーを含む）	個数
32SE3*	10 mm	6 本
43SE3* 43SL5B	14 mm	8 本
49SE3* 49SL5B	14 mm	8 本
55SE3* 55SL5B	14 mm	8 本
65SE3*	16 mm	8 本

寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	
ST-322T	397.5 mm X 155.6 mm X 154.2 mm / 0.8 kg
ST-432T	584.5 mm X 220 mm X 193 mm / 2.5 kg
ST-492T	686.4 mm X 220 mm X 219.6 mm / 3.2 kg
ST-652T	675 mm X 220 mm X 293.7 mm / 5.2 kg

スタンドキット

ヒント

- 本製品は上記のオプションの部品が使用できます。 必要に応じて、個別に購入してください。



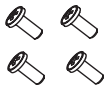
スピーカー
SP-5000



ケーブルホルダー/
結束バンド



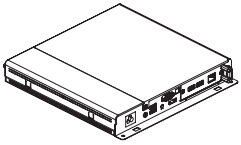
ネジ
直径4.0 mm x ピッチ0.7 mm x 長さ 8mm
(スプリングワッシャーを含む)



ネジ
直径4.0 mm x ピッチ 1.6 mm x 長さ10 mm

スピーカーキット

(32SE3B,43SE3B,49SE3B,55SE3B,65SE3B,43SL5B,49SL5B,55SL5Bモデルのみ)



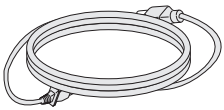
メディアプレーヤー
MP500/MP700



ネジ



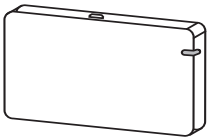
CD (取扱説明書) /
カード



電源コード (1.55 m)

コンテンツプレーヤー

(43SE3B,49SE3B,55SE3B,65SE3B,43SE3KB,49SE3KB,55SE3KB,65SE3KB,
43SL5B,49SL5B,55SL5Bモデルのみ)



AN - WF500

無線LAN・Bluetoothアダプター

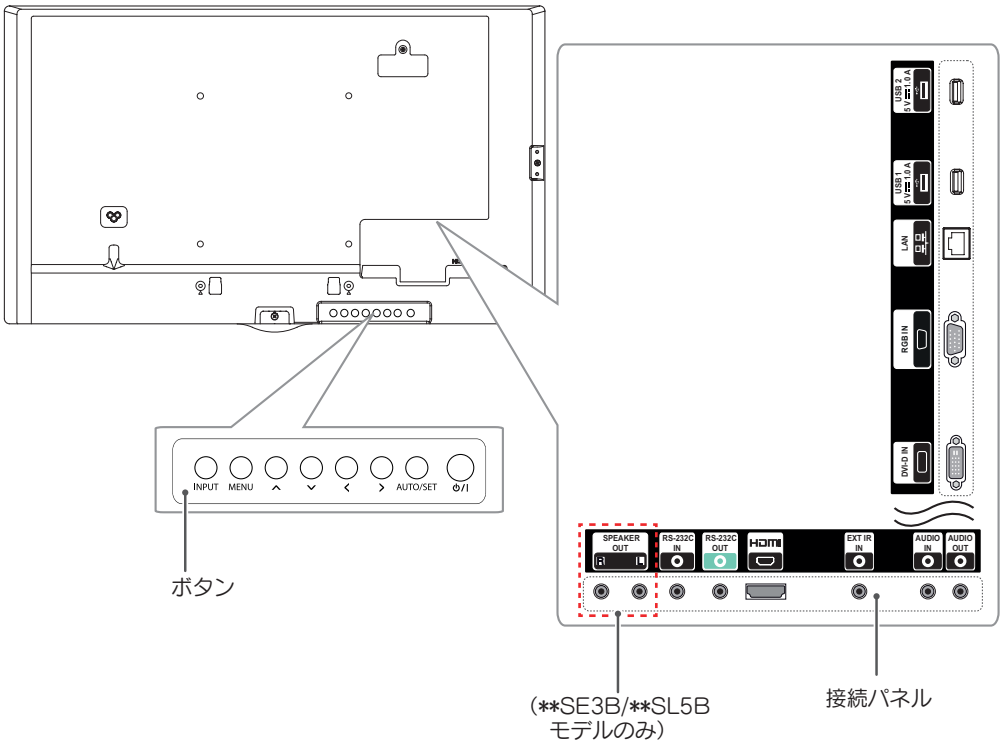
ヒント

- 地域またはモデルによっては、ケーブルホルダー/結束バンドが使用できない場合があります。
- モデルによっては、オプションの部品が使用できます。 必要な場合は、個別に購入してください。

各部名称とボタン

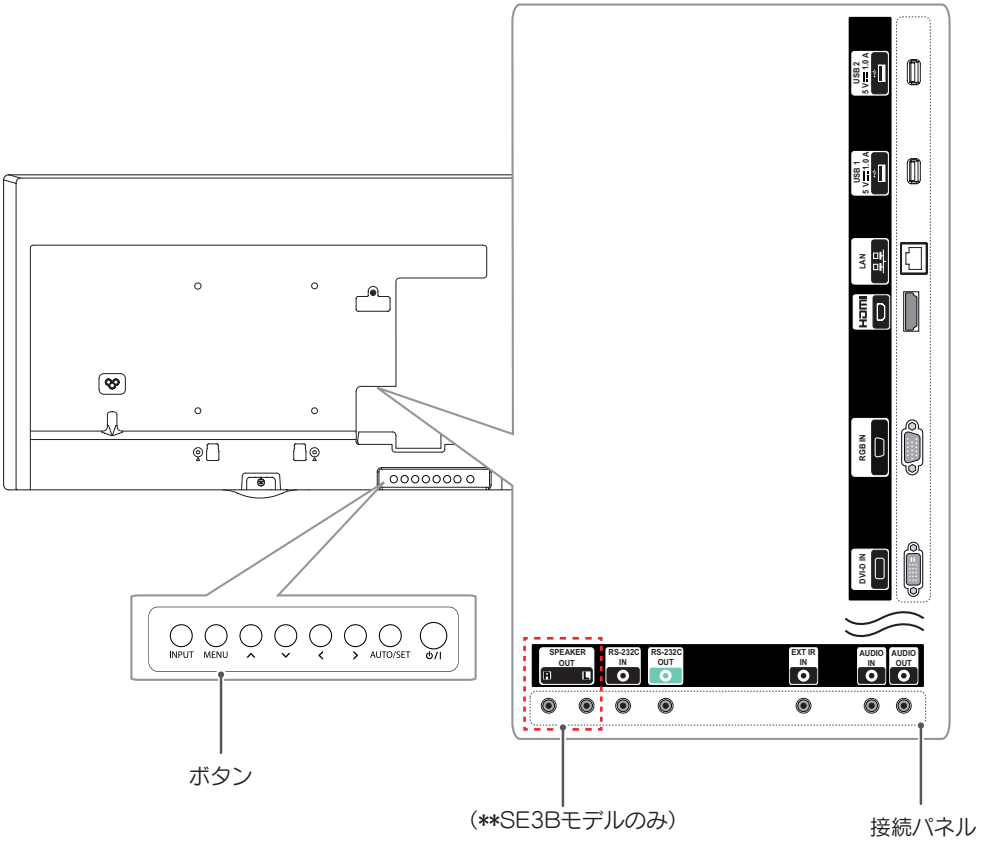
- モデルによっては、図と配置が異なっていることがあります。

32/43/49/55SE3B | 32/43/49/55SE3KB | 43/49/55SL5B



ボタン	説明
入力切換	入力元を変更します。
メニュー	メインメニューを表示したり、入力を保存してメニューを終了したりします。
∧∨	上下へ調節します。
<>	左右へ移動します。
AUTO/SET (自動/設定)	現在の信号およびモードを表示します。
⏻ /I	電源のオン/オフを切り替えます。

65SE3B 65SE3KB



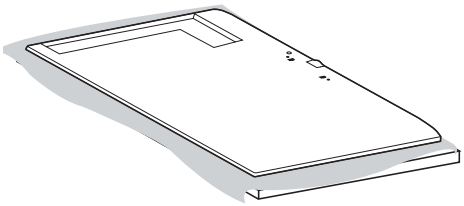
ボタン	説明
入力切換	入力元を変更します。
メニュー	メインメニューを表示したり、入力を保存してメニューを終了したりします。
∧∨	上下へ調節します。
<>	左右へ移動します。
AUTO/SET (自動/設定)	現在の信号およびモードを表示します。
⏻ /I	電源のオン/オフを切り替えます。

スタンドの設置

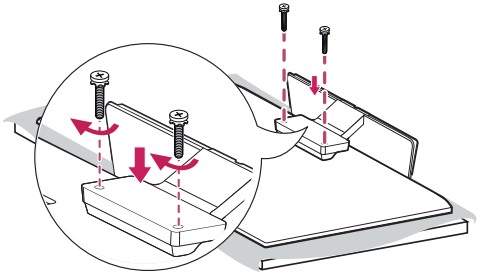
- モデルによっては、図と配置が異なる場合があります。

32SE3*

1 テーブルの上に柔らかい布を置き、その上に画面を下向きにして製品を置きます。

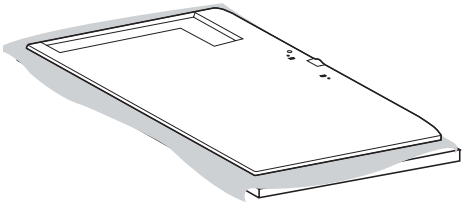


2 次に示すように、ネジを使用してスタンドを製品の背面に固定します。

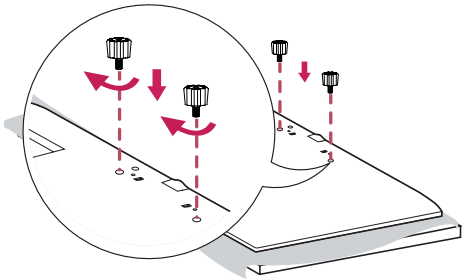


43/49/55/65SE3* 43/49/55SL5B

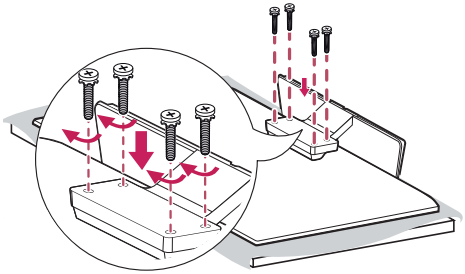
1 テーブルの上に柔らかい布を置き、その上に画面を下向きにして製品を置きます。



2 次に示すように、製品の背面にスタンドスペーサーを締め付けます。



3 次に示すように、ネジを使用してスタンドを製品の背面に固定します。

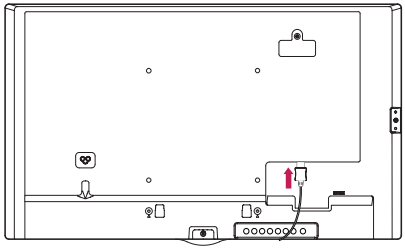


スピーカーの接続

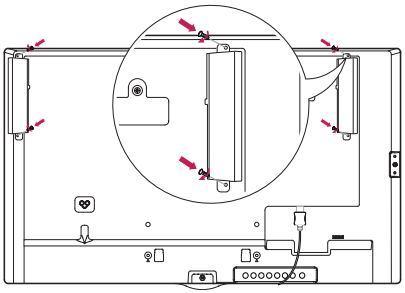
- SE3B/SL5Bシリーズのみ対応します。
- モデルによっては、図と配置が異なる場合があります。

32SE3B

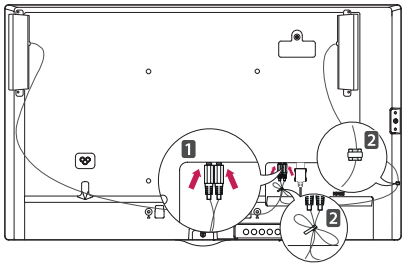
1 スピーカーを取り付ける前に、入力信号ケーブルを接続します。



2 次に示すようにネジを使用してスピーカーを取り付けます。 接続する前に、電源ケーブルが切断されていることを確認してください。

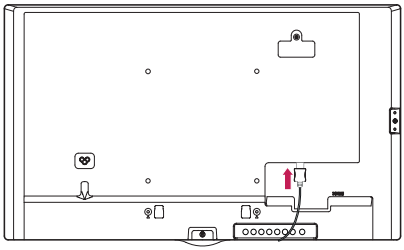


3 次にスピーカーケーブルを接続します。 スピーカーを取り付けたら、ケーブルホルダーと結束バンドを使用してスピーカーケーブルをまとめます。

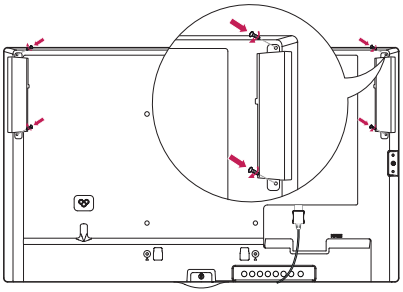


43/49/55/65SE3B | 43/49/55SL5B

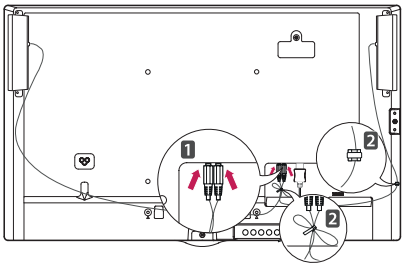
1 スピーカーを取り付ける前に、入力信号ケーブルを接続します。



2 次に示すようにネジを使用してスピーカーを取り付けます。 接続する前に、電源ケーブルが切断されていることを確認してください。



3 次にスピーカーケーブルを接続します。 スピーカーを取り付けたら、ケーブルホルダーと結束バンドを使用してスピーカーケーブルをまとめます。



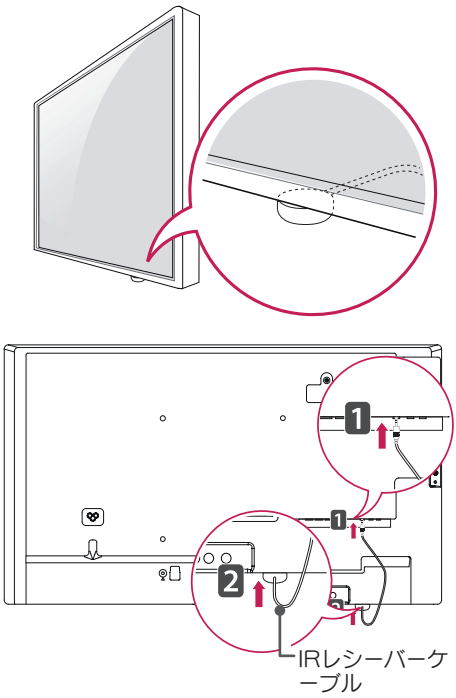
ヒント

- 電源をオフにしてから、ケーブルを取り外してください。 電源がオンである状態でスピーカーケーブルを接続したり取り外したりすると、音声が出力されなくなる場合があります。

IRレシーバーの使用

- モデルによっては、図と配置が異なる場合があります。

IRレシーバーの使用により、リモコンセンサーをお望みの場所に設置することが可能です。 これにより、モニターはRS-232Cケーブルを介して別のモニターを制御します。 セットの前面に向けてIRレシーバーを取り付けます。

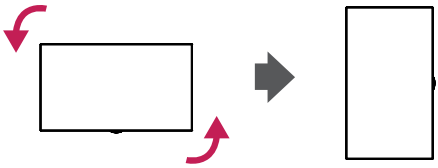


ヒント

- IRレシーバーケーブルがセットの背面から見て前面側に向いていない場合、信号の受信範囲が狭まることがあります。
- IRレシーバーには磁石が付いています。セットの底面（通常の設置の場合）または背面（壁に設置した場合）で取り外し可能です。
- IRレシーバーを接続または取り外す前に、必ず電源コードを抜いてください。

ポートレートレイアウト

ポートレートレイアウトで設置する場合、モニターを（画面に向かって）反時計回りに90度回転させます。

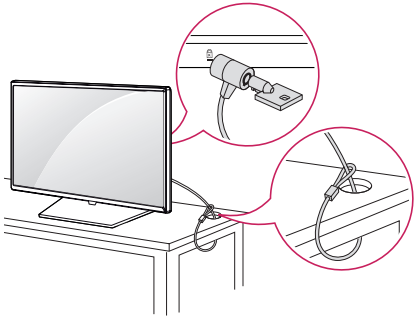


Kensingtonロックの使用

（この機能を使用できないモデルもあります。）

Kensingtonセキュリティシステムコネクターは、モニターの背面にあります。 このシステムの取り付けと使用方法の詳細については、Kensingtonセキュリティシステムに付属のマニュアルを参照するか、または *http://www.kensington.com*をご覧ください。

モニターとテーブルの間にKensingtonセキュリティシステムケーブルを接続します。



ヒント

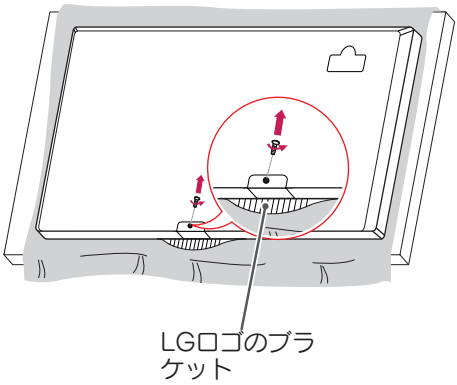
- Kensingtonセキュリティシステムは別売りです、ご購入の際は最寄の家電量販店等の取扱い店にお問い合わせください。

LGロゴのブラケットの取り付けと取り外し

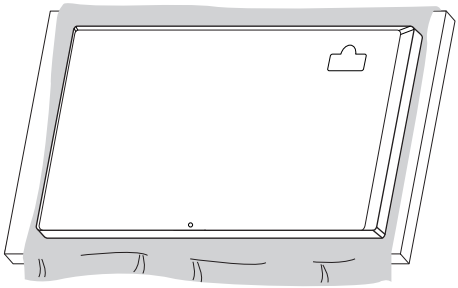
- モデルによっては、図と配置が異なる場合があります。

LGロゴの取り外し

1 床にきれいな布を置き、その上に画面を下向きにしてモニターを置きます。 ドライバーを使用してLGロゴのブラケットをモニターの背面下部に固定しているネジを取り外します。

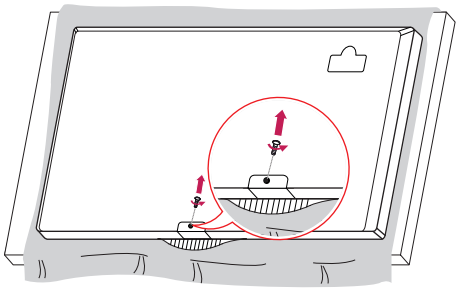


2 ネジを取り外した後、LGロゴを取り外します。再びLGロゴを取り付けるときは、この手順を逆の順番で繰り返します。

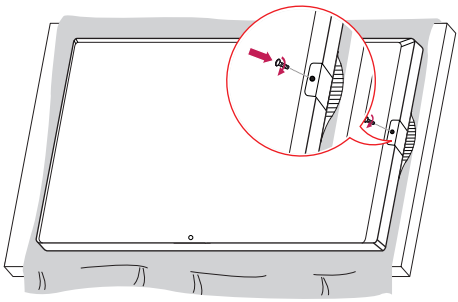


右側でのLGロゴの取り付け

1 床にきれいな布を置き、その上に画面を下向きにしてモニターを置きます。 ドライバーを使用してLGロゴのブラケットをモニターの背面下部に固定しているネジを取り外します。

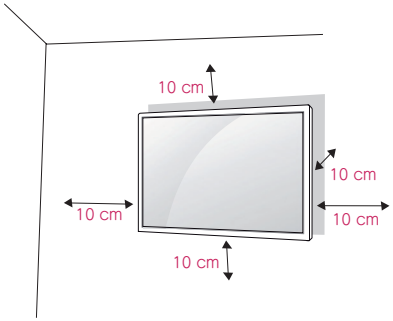


2 ネジを取り外した後、LGロゴを取り外します。右側の穴の位置に合わせて、LGロゴのブラケットをネジで固定します。



壁への取り付け

適切な通気性を確保するために、左右の側面に、および背面の壁から、最低10 cmのスペースを空けてください。 詳細な取り付け手順については、販売店よりオプションの傾斜付き壁掛けブラケットの取り付けおよび設定に関するガイドを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け用金具（オプション部品）をモニターの背面に取り付けます。

壁掛け用金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

1 VESA規格に適合したネジと壁掛け用金具のみを使用してください。

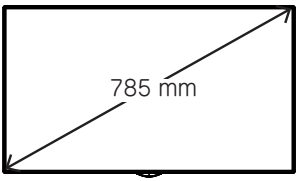
2 規格より長いネジを使用すると、モニターの内部が破損するおそれがあります。

3 VESA規格以外のネジを使用すると、製品が破損し、モニターの落下の原因になるおそれがあります。 LG Electronicsは、規格外のネジの使用に関係する事故については責任を負いません。

4 下記のVESA規格に従ってください。

- 785 mm以上

＊ 取り付けネジ：直径6.0 mm x ピッチ 1.0 mm x 長さ12 mm



注意

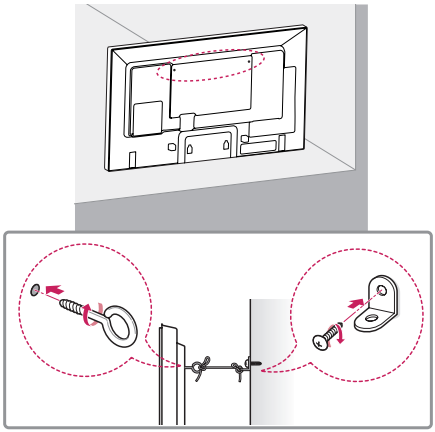
- 感電の危険性を避けるために、モニターの移動または設置は、電源コードを抜いてから行ってください。
- モニターを天井または傾きのある壁面に取り付けると、モニターが落下しけがを負う可能性があります。 正規のLG壁掛けを使用し、販売店または資格のある業者に設置の支援を依頼してください。
- ネジを締め付けすぎないようにしてください。モニターが損傷し、保証が無効になる可能性があります。
- VESA規格に適合するネジおよび壁掛けブラケットのみを使用してください。 使用方法の誤りまたは不適切な部品が原因の破損やけがは、保証の対象にはなりません。

ヒント

- 壁掛け用金具には、設置ガイドと必要な部品が含まれています。
- 壁掛け用金具は別売です。 販売店にお問い合わせください。
- ネジの長さは壁掛けによって異なる場合があります。 正しい長さのネジを使用してください。
- 詳細については、壁掛けに付属のガイドを参照してください。
- 本製品を極端にほこりの多い場所で使用することにより発生する損傷は、保証の対象には含まれておりません。

壁面へのモニターの固定（任意）

モデルによっては、手順が異なる場合があります。



1 モニターの背面で、アイボルト、またはブラケットとボルトを挿入して締め付けます。

- アイボルトの位置にすでにボルトが挿入されている場合は、最初にボルトを取り外してください。

2 壁ブラケットを壁面にボルトで取り付けます。 壁ブラケットとモニター背面のアイボルトの位置が一致するようにしてください。

3 アイボルトと壁ブラケットを頑丈なコードでしっかりと結びます。
固定するコードが平らな面に対して水平になっていることを確認してください。

注意

- お子様がモニターによじ登ったりぶら下がったりしないようにしてください。

ヒント

- モニターを安全に支えることが可能な大きさおよび強度の台またはキャビネットを使用してください。
- ブラケット、ボルト、およびコードは別売品です。 最寄りの販売店から追加の付属品を購入できます。
- イラストは一般的な設置例を表していますので、実際の製品の外観とは異なる場合があります。

警告

- モニターを安定した場所に設置しないと、落下する危険性があります。 次のような簡単な予防策を講じることで多くの負傷（特にお子様の負傷）を回避できます。
  - » 推奨のキャビネットまたはスタンドを使用する。
  - » モニターを安全に支えることができる家具を使用する。
  - » モニターを設置する家具の端から製品がはみ出さないようにする。
  - » 背の高い家具（戸棚や本棚など）の上にモニターを設置しない（そのような場所に設置する場合は、家具とモニターの両方を適切な固定場所に固定する）。
  - » 布などを敷いた家具の上にモニターを設置しない。
  - » モニターやボタン類に触れるために家具の上に昇ることは危険であることをお子様に伝える。

リモコン

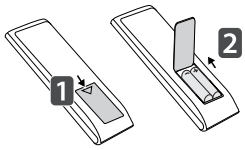
リモコンを使用する為にはIRレシーバーの接続が必要です。（15ページ）この取扱説明書にある記述は、リモコンのボタンに基づいています。 この取扱説明書をよくお読みいただいて、正しい方法でモニターセットを使用してください。

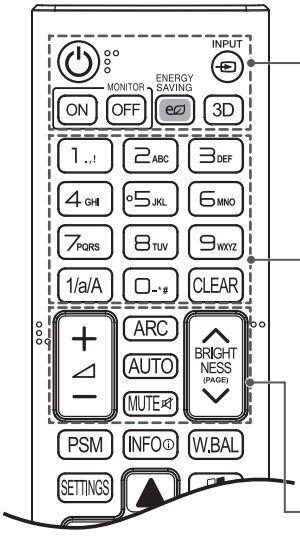
電池を取り付けるには、電池カバーを開け、1.5 Vの単四電池を、⊕と⊖端子の方向をボックス内のラベルの表示に合わせて取り付け、電池カバーを閉じます。

電池を取り外すには、取り付けと逆の手順を行います。 図は、実際の付属品と異なる場合があります。

⚠ 注意

- リモコンが故障するおそれがあるので、古い電池と新しい電池は一緒に使用しないでください。
- リモコンは、必ずモニターのリモコンセンサーに向けて使用してください。

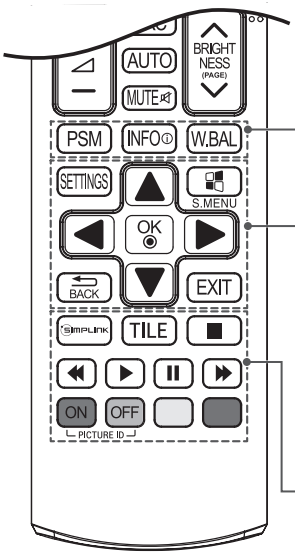




⏻（電源）：モニターの電源のオン/オフを切り替えます。
MONITOR ON：モニターをオンにします。
MONITOR OFF：モニターをオフにします。
ENERGY SAVING(eco)：映像の明るさを調整して、消費電力を抑えます。
INPUT：現在の入力モードを選択します。
3D：3Dビデオを見るのに使います （これは、このモデルではサポートされていません）。

1/a/A ：数字とアルファベットを切り替えます。（モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。）
数字/アルファベットボタン：
設定に応じて数字またはアルファベットを入力します。 （モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。）
CLEAR：入力した数字またはアルファベットを削除します。 （モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。）

音量ボタン：音量を調整します。
ARC：[画面サイズ]モードを選択します。
AUTO：自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます（RGB入力のみで使用可能）。 （モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。）
MUTE：音量をミュートに設定します。
BRIGHTNESS：リモコンの上げる/下げるボタンを押して、輝度を調節します。 USBモードでは、OSDメニューのページ機能で次のファイルリストに移動します。（モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。）



PSM：映像モードを選択します。
INFO ⓘ：現在の番組および画面の情報を表示します。
W.BAL：[ホワイトバランス]メニューが表示されます。

SETTINGS：メインメニューの表示、入力の保存、メニューの終了に使用します。
S.MENU：SuperSignメニューキー（モデルによっては、この機能がサポートされていない場合があります。）
ナビゲーションボタン：メニューやオプションをスクロールします。
OK：メニューやオプションを選択し、入力を確定します。
BACK：ユーザーインタラクション機能で1つ前のステップに戻ります。
EXIT：すべてのOSDタスクとアプリケーションを終了します。

SIMPLINK：Simplinkは対応のLG製品と接続することで、リモコンでSimpLinkメニューからさまざまなマルチメディアデバイスを操作できます。（モデルによってはこの機能がサポートされていない場合があります。）
TILE：[タイルモード]を選択します。
PICTURE ID ON/OFF：映像IDの数がセットIDの数と等しい場合は、マルチディスプレイ形式ですべてのモニターを制御できます。
USBメニューコントロールボタン：メディアの再生を制御します。

入力ポートに接続された機器名の表示

どの機器がどの外部入力ポートに接続されているかを表示します。

1 [入力切換]画面を表示し、リモコンの赤（入力ラベル）ボタンを押します。

2 USB以外のすべての入力に、入力ラベルを割り当てることができます。

ヒント

- サポートしている外部入力：HDMI、DVI-D
- 使用可能なラベル：PC、DTV
- 入力ラベルは、[Input Label（入力ラベル）]画面に表示されます。また、外部入力設定を変更すると、画面左上に表示されます。
- 1080p 60 HzなどのDTV/PC互換信号の場合、入力ラベルに応じて画面設定が変わる場合があります。 PCが外部機器として接続されている場合は、[ジャストスキャン]オプションが使用できます

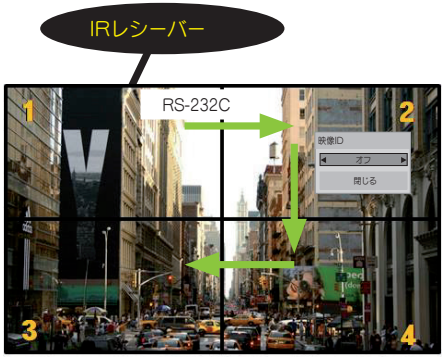
ホワイトバランスの調整

リモコンのW.BALボタンを押します。

- [R-Gain（R-ゲイン）]：
  赤のレベルを調整します。 数値が高いほど、赤が濃くなります。
- [G-Gain（G-ゲイン）]：
  緑のレベルを調整します。 数値が高いほど、緑が濃くなります。
- [B-Gain（Bゲイン）]：
  青のレベルを調整します。 数値が高いほど、青が濃くなります。
- [バックライト]：
  明るさを調整します。 数値が大きいほど明るくなります。 ユーザーメニューの[バックライト]の操作と同じです。
- [リセット]：
  ホワイトバランスの値を工場出荷時の設定に戻します。

映像IDの使用

映像IDは、マルチビジョン用のIRレシーバーを1つ使用して特定のディスプレイの設定を変更する場合に使用します。 IR信号を受信するセットは、RS-232C接続経由で別のセットと通信します。 各セットは、セットIDにより識別されます。 リモコンを使用して映像IDを割り当てると、同じ映像IDとセットIDを持つモニターのみをリモコン操作できます。



2 X 2マルチビジョン
セットIDは、図のように割り当てられます。

1 リモコンの赤いONボタンを押して、映像IDを割り当てます。

2 [映像ID]を変更するにはONボタン、または左右矢印ボタンを押し続けます。 使用するIDを割り当てます。

- マルチビジョンの各セットにセットIDを割り当ててから、リモコンの赤ボタンを使用して映像IDを割り当てると、同じセットIDと映像IDを持つセットのキー コマンドが表示されます。 セットIDと映像IDが異なるモニターは、IR信号で制御することはできません。

ヒント

- たとえば、［映像ID］を2とすると、右上のモニター（セットID： 2）はIR信号で制御できます。
- 各セットについて、[映像]、[音声]、[タイマー設定]、[ネットワーク]、[マイメディア]メニューの設定やリモコンのホットキーの設定を変更できます。
- 映像IDに対して緑のOFFボタンを押すと、すべてのセットに対するその映像IDがオフになります。 その後、リモコンのいずれかのボタンを押すと、すべてのセットが再び機能します。
- [マイメディア]メニューの使用時には映像IDが無効になります。

日本語

接続

モニターにはさまざまな外部デバイスを接続できます。 入力モードを変更し、接続する外部デバイスを選択します。

外部デバイスの接続の詳細については、各デバイスに付属するユーザーマニュアルを参照してください。

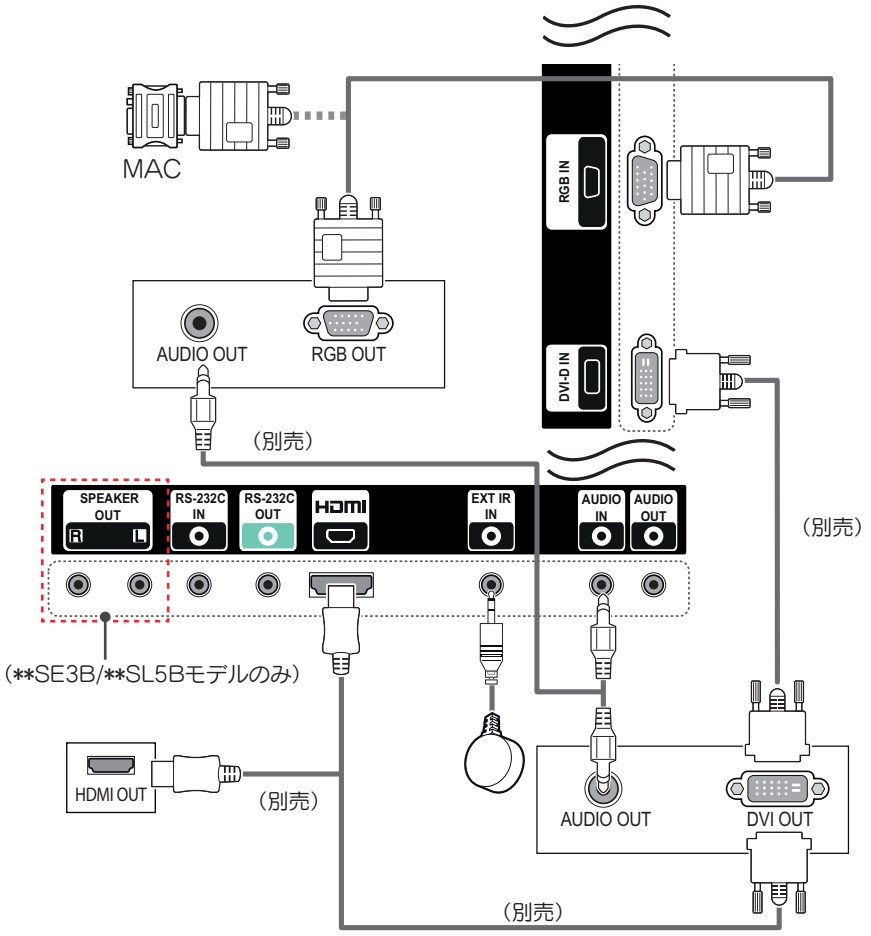
PCへの接続

図は、実際の付属品と異なる場合があります。 一部のケーブルは別売です。

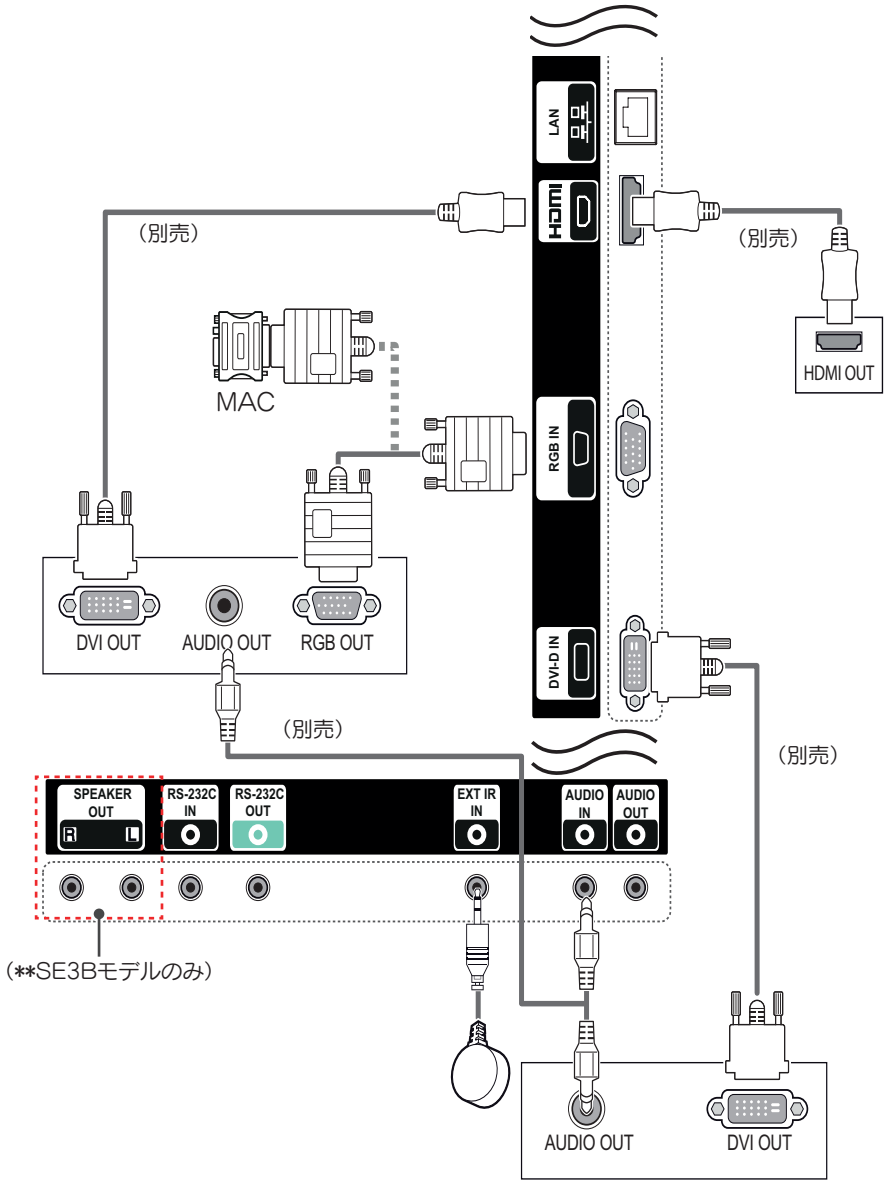
このモニターは、プラグアンドプレイ*機能に対応しています。

* プラグアンドプレイ機能：PCの電源が入っている状態で、デバイスの設定やユーザーの操作を必要とせずに、ユーザーが接続したデバイスをPC側で自動的に認識できるようにする機能です。

32/43/49/55SE3* | 43/49/55SL5B



65SE3*

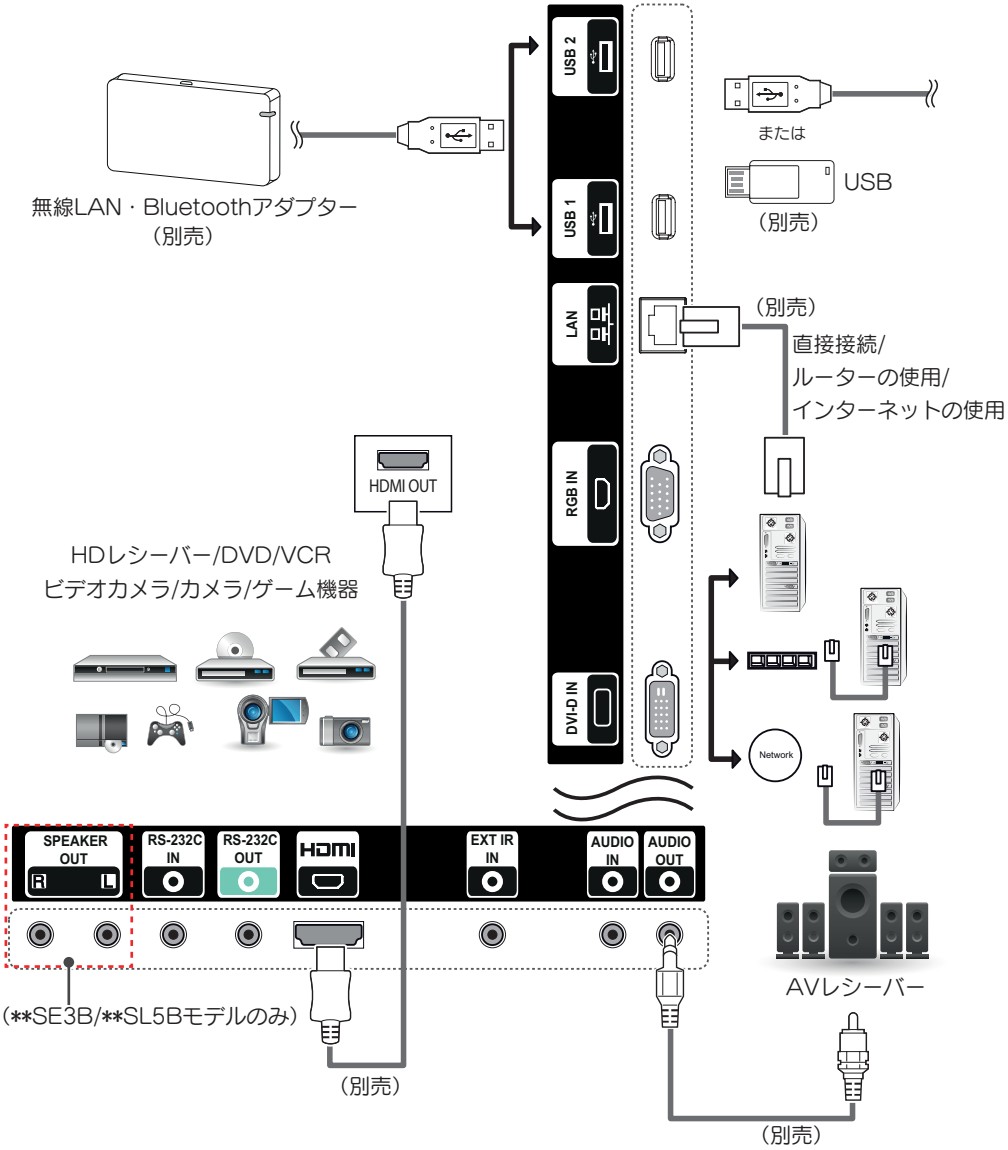

LAN
HDMI
RGB IN
DVI-D IN
(別売)
(別売)
HDMI OUT
MAC
DVI OUT
AUDIO OUT
RGB OUT
(別売)
(別売)
SPEAKER OUT
RS-232C IN
RS-232C OUT
EXT IR IN
AUDIO IN
AUDIO OUT
(**SE3Bモデルのみ)
AUDIO OUT
DVI OUT

外部機器接続

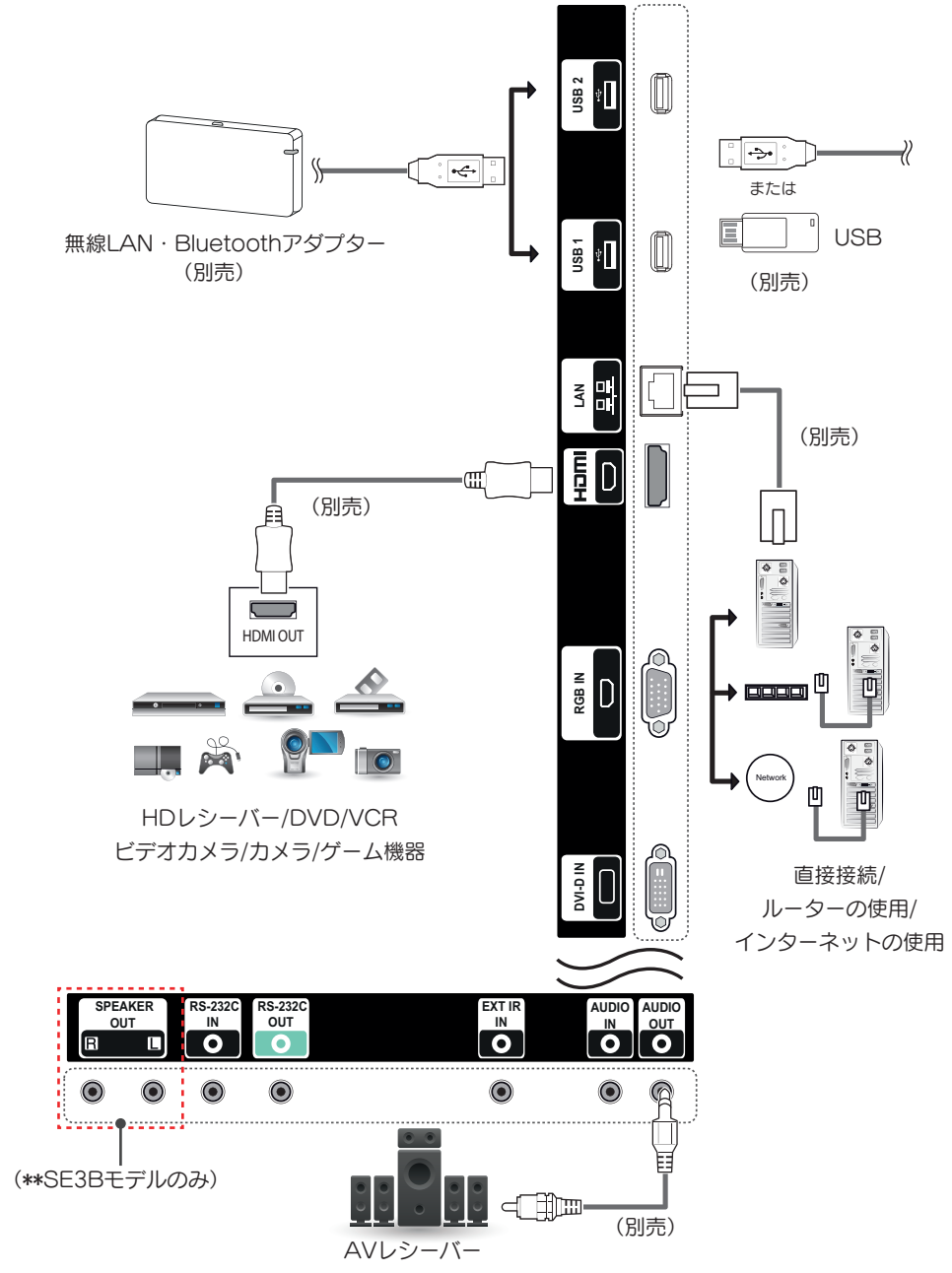
HDレシーバー、DVDまたはVCRプレーヤーをモニターに接続し、適切な入力モードを選択します。

図は、実際の付属品と異なる場合があります。 一部のケーブルは別売です。 最適な映像および音声品質を得るために、HDMIケーブルを使用して外部機器とモニターを接続することをお勧めします。

32/43/49/55SE3* | 43/49/55SL5B



65SE3*


USB 2
USB 1
LAN
HDMI
RGB IN
DVI-D IN
無線LAN・Bluetoothアダプター
（別売）
または
USB
（別売）
（別売）
（別売）
HDMI OUT
HDレシーバー/DVD/VCR
ビデオカメラ/カメラ/ゲーム機器
Network
直接接続/
ルーターの使用/
インターネットの使用
SPEAKER OUT
RS-232C IN
RS-232C OUT
EXT IR IN
AUDIO IN
AUDIO OUT
(**SE3Bモデルのみ)
（別売）
AVレシーバー

ヒント

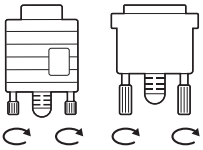
- HDMI接続でモニターを使用すると、最適な画質が得られます。
- 製品の仕様に準拠するため、フェライトコア付きのシールドされたインターフェイスケーブル（D-sub 15ピンケーブルやDVI-D/HDMIケーブルなど）を使用してください。
- モニターが冷えている状態で電源を入れると、画面がちらつくことがあります。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
- 画面に赤、緑、または青の点が表示されるこ とがありますが、これは製品不良ではありません。
- 電磁波の影響を最小限に抑えるため、ケーブルタイでケーブルを固定してください。
- 高速HDMI®/™ケーブルを使用します。
- HDMI-PCモードを使用する場合は、入力ラベルをPCモードに設定する必要があります。
- HDMI 接続でPCを使用する場合、互換性の問題が発生する可能性があります。
- HDMIロゴ付きの認証済みケーブルを使用してください。 認証済みのHDMIケーブルではない場合、画面が表示されなかったり、接続エラーが起きたりすることがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  -高速HDMI®/™ケーブル
  -イーサネット対応高速HDMI®/™ケーブル

Macintoshを接続する場合



- 互換性のないアダプターが市販されているため、標準的なMacintoshアダプターを使用してください （信号システムが異なります）
- このモニターにMacintoshを接続する場合、変換コネクターが必要なります。詳細については、Appleに電話でお問い合わせになるか、AppleのWebサイトをご覧ください。

注意



- 信号入力ケーブルを取り付け、ネジを時計回りに回して締め付けます。
- 画面を指で長い時間押し続けないでください。一時的に画面が乱れることがあります。
- 映像の焼き付きを防ぐため、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。 なるべくスクリーンセーバーを使用してください。
- DisplayPort - HDMI変換コネクターを使用する場合は、必ずグラフィックカード製造メーカー認定の変換コネクターを使用してください。
- グラフィックカードのマルチチャネルポートに接続する場合は、必ず同じモデルのDisplayPort - HDMI変換コネクターを使用してください。

モニターの使用

入力切換の使用

1 INPUTボタンを押して、[入力切換]を表示します。

2 ナビゲーションボタンを押していずれかの入力モードを選択し、OKボタンを押します。
- [RGB]：画面にPCモニターをアナログ接続します。
- [HDMI]：PC、DVD、デジタルセットトップボックス、その他高解像度機器のコンテンツを視聴します。
- [DVI-D]：PC、DVD、その他のHD機器でマルチメディアコンテンツを表示します。
- [USB]：USBに保存されているマルチメディアファイルを再生します。

画面サイズ設定の調整

モニターセットを見ながら[ARC]を押して、最適なサイズで表示されるように映像のサイズを変更します。

モード / 画面サイズ	RGB	HDMI		DVI-D	
	PC	DTV	PC	DTV	PC
16：9	o	o	o	o	o
ジャストスキャン	x	o	x	o	x
プログラム	x	o	x	o	x
4：3	o	o	o	o	o
ズーム	x	o	x	o	x
シネマズーム 1	x	o	x	o	x

ヒント

- メインメニューを表示して映像のサイズを変更することもできます。
- 映像信号の解像度が720p以上の場合は、[ジャストスキャン]モードで動作します。

注意

- 画面に同じ映像を長時間表示すると、その映像が画面に焼き付き、画面の外観が永続的に損なわれます。 この「映像の焼き付き」または「焼き付き」は、保証対象外となります。
- モニターを使用しない場合は、電源をオフにするか、PCまたはシステムからスクリーンセーバーを設定し、残像を防ぎます。
- 画面サイズを長時間[4:3]に設定していると、画面のレターボックス領域で映像の焼き付きが発生する場合があります。

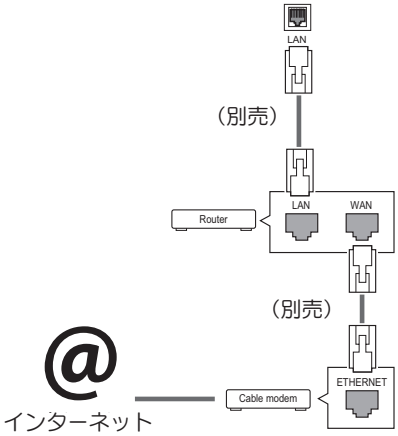
- [16:9]：これを選択すると、映像を水平に線形比例で調節し、画面の最大サイズに合わせることができます（ノーマル形式のDVDの表示に役立ちます）。
- [ジャストスキャン]：これを選択すると、高解像度の元の映像が損なわれることなく、最適な品質の映像を表示できます。 ヒント：元の映像にノイズがある場合は、ノイズが端に表示されます。
- [プログラム]：入力信号に応じて、画面サイズ設定が4：3または16：9に変化します。
- [4:3]：これを選択すると、元のノーマル画面サイズ設定で映像を表示でき、画面の左右両側にブラックバーが表示されます。
- [ズーム]：これを選択すると、映像を変更せずに、画面の最大サイズに合わせて表示できます。ただし、映像の上下がクロッピングされます。
- [シネマズーム 1]：映像を正しい縦横比で拡大する場合にシネマズームを選択します。 ヒント：映像を拡大または縮小するときに映像が歪む場合があります。

エンターテイメント

ネットワークの使用

ネットワークへの接続

有線ネットワーク接続の場合は、次の図に示すように、LANポートを使用してモニターをローカルエリアネットワーク（LAN）に接続し、ネットワーク設定を行います。 ワイヤレスネットワーク接続の場合は、Wi-Fi USBモジュールをUSBポートに接続し、 ネットワーク設定を行います。
物理接続を行った後に、ホームネットワーク環境によっては、モニターのネットワーク設定を調整することが必要となる場合があります。
ほとんどのホームネットワークでは、モニターは調整しなくても自動的に接続されます。
詳細については、インターネットプロバイダに問い合わせるか、ルーターのマニュアルを参照してください。



注意

- 電話回線のモジュラーケーブルをLANポートに接続しないでください。
- さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダの規定に従ってください。

有線ネットワークへの接続

ネットワーク設定を行います（モニターがすでに自動的に接続されている場合でも、設定の再実行による悪影響はありません）。

1. SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。
2. ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]を選択し、OKを押します。
3. ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、OKを押します。
4. ネットワーク設定をすでに行っている場合は、[リセット]を選択します。 新しい接続設定によって、現在のネットワーク設定がリセットされます。
5. [IP自動設定]または[IP手動設定]を選択します。
   - [IP手動設定]：
     ナビゲーションボタンおよび数字ボタンを押します。 IPアドレスは手動で入力する必要があります。
   - [IP自動設定]：
     有線接続経由のローカルエリアネットワーク（LAN）上にDHCPサーバー（ルーター）がある場合に選択します。デモニターは自動的にIPアドレスに割り当てられます。 DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能を持つブロードバンドルーターまたはブロードバンドモデムを使用している場合、 IPアドレスは自動的に決定されます。
6. 完了したら、EXITを押します。

ワイヤレスネットワークへの接続

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク設定]を選択し、OKを押します。

4 [APリストから設定します]または[シンプル設定（WPS-button mode）]を選択します。
-[APリストから設定します]：
ワイヤレスネットワークに接続するAPを選択します。
-[シンプル設定（WPS-button mode）]：
PBCをサポートしているワイヤレスルーターのボタンを押して、ルーターに簡単に接続できます。

5 完了したら、EXITを押します。

注意

- ネットワーク設定メニューは、モニターが物理ネットワークに接続されるまで使用できません。
- さまざまな接続方法があるため、通信事業者またはインターネットサービスプロバイダの規定に従ってください。
- 本機はAN-WF500のみサポートします。

ヒント

- モニターでインターネットに直接アクセスする場合は、インターネット接続を常にオンにする必要があります。
- インターネットにアクセスできない場合は、ネットワーク上のPCでネットワーク状態を確認します。
- [ネットワーク設定]を使用する場合は、LANケーブルを確認するか、ルーターのDHCPがオンになっていることを確認します。
- ネットワーク設定を完了していない場合は、ネットワークが適切に動作しない場合があります。

ネットワーク設定のヒント

- モニターには、標準的なLANケーブルを使用してください（RJ45コネクタを備えたカテゴリ5以上）。
- 設定時に生じたネットワーク接続の問題の多くは、ルーターまたはモデムをリセットすることで修正できます。 ディスプレイをホームネットワークに接続したら、ホームネットワークルーターまたはケーブルモデムの電源をすぐにオフにするか、電源ケーブルを取り外してください。 その後、電源をオンにするか、電源ケーブルを接続し直します。
- インターネットサービスプロバイダ（ISP）によっては、インターネットサービスを受けることのできるデバイス数が、適用されるサービス条件によって制限されている場合があります。 詳細については、ISPに問い合わせてください。
- LGは、インターネット接続またはその他の接続機器に関連する通信エラーや不具合が原因で生じた、モニターやインターネット接続機能の誤作動の責任は負いません。
- LGは、インターネット接続での問題の責任は負いません。
- アクセスするコンテンツの要件をネットワーク接続速度が満たしていないと、期待どおりの結果が得られない場合があります。
- インターネット接続を提供するインターネットサービスプロバイダ（ISP）が設定している特定の制限が原因で、一部のインターネット接続動作を実行できない場合があります。
- ISPによって請求される料金（接続料を含みますが、これに限定されません）は、ユーザーの負担となります。
- 有線接続を使用してモニターに接続する場合は、10 Base-Tまたは100 Base-TX LANポートが必要です。 ご利用のインターネット サービスでこのような接続が許可されていない場合は、モニターを接続できません。
- DSLサービスを使用するには、DSLモデムが必要です。ケーブルモデムサービスを使用するには、ケーブルモデムが必要です。 ISPのアクセス方式およびISPとのサブスクライバ契約によっては、モニターに含まれているインターネット接続機能を使用できない場合や、同時に接続できるデバイス数が制限される場合があります （ISPがサブスクリプションを1つのデバイスに制限している場合、PCがすでに接続されていると、モニターを接続できない場合があります）。
- ISPのポリシーおよび制限によっては、ルーターの使用が許可されない場合や、ルーターの使用が制限されている場合があります。 詳細については、ISPに直接お問い合わせください。

ワイヤレスネットワーク設定のヒント

- ワイヤレスネットワークは周波数2.4 GHzで動作している他のデバイス（ワイヤレスフォン、Bluetoothデバイス、電子レンジ）により干渉を受けることがあります。 また、他のWi-Fiデバイスと同様に、5 GHzの周波数を使用するデバイスにより干渉を受ける可能性もあります。
- 周囲のワイヤレス環境によってワイヤレスネットワークサービスの動作が遅くなることがあります。
- AP接続の場合、ワイヤレス接続をサポートするアクセスポイントデバイスが必要です。また、ワイヤレス接続機能をデバイスで有効にする必要があります。 ユーザーのアクセスポイントでワイヤレス接続を利用できるかどうかについては、サービスプロバイダに問い合わせてください。
- AP接続について、SSIDおよびAPのセキュリティ設定を確認してください。 SSIDおよびAPのセキュリティ設定については、該当するマニュアルを参照してください。
- ネットワークデバイス（有線/ワイヤレスライン共有、ハブ）の無効な設定により、モニターの動作が遅くなる場合や、正しく動作しない場合があります。 適切なマニュアルに従ってデバイスを正しく取り付けて、ネットワークを設定してください。
- 接続方法は、APメーカーによって異なることがあります。

ネットワーク状態

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示セスします。

2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク状態]を選択します。

4 OKを押して、ネットワーク状態を確認します。

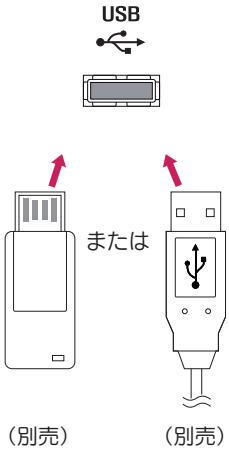
5 完了したら、Exitを押します。

オプション	説明
設定	ネットワーク設定メニューに戻ります。
テスト	ネットワークを設定した後に、現在のネットワーク状態をテストします。
閉じる	前のメニューに戻ります。

マイメディアの使用

USBストレージデバイスの接続

USBフラッシュメモリー、外部ハードドライブなどのUSBストレージデバイスをモニターに接続し、マルチメディア機能を使用します。次の図のように、USBフラッシュメモリーまたはUSBメモリーカードリーダーをモニターに接続します。［マイメディア］画面が表示されます。



注意

- ［マイメディア］メニューがアクティブである間は、モニターをオフにしたり、USBストレージデバイスを取り外したりしないでください。これらを行うと、ファイルの損失やUSBストレージデバイスの破損が発生する場合があります。
- USBストレージデバイスに保存したファイルは、損失または破損する場合があり、このことは保証対象外であるため、頻繁にバックアップしてください。

USBストレージデバイスの使用上のヒント

- USBストレージデバイスのみ認識されます。
- USBハブ経由でUSBストレージデバイスを接続した場合、デバイスは認識されません。
- 自動認識プログラムを使用しているUSBストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 独自のドライバを使用しているUSBストレージデバイスは認識されません。
- USBストレージデバイスの認識速度は、デバイスごとに異なる場合があります。
- 接続したUSBデバイスの動作中に、モニターの電源をオフにしたり、USBデバイスを取り外したりしないでください。 動作中のデバイスが突然外されると、保存されているファイルやUSBストレージデバイスが破損することがあります。
- PC上で人為的に変更が加えられたUSBストレージデバイスを接続しないでください。 製品の誤動作が起きることがあります。 標準的な音楽ファイル、画像ファイル、動画ファイルが保存されたUSBストレージデバイスのみを
  使用してください。
- FAT32ファイルシステムでフォーマットされているUSBストレージデバイスのみを使用してください。 Windowsでサポートされていないユーティリティプログラムでフォーマットされたストレージデバイスは認識されないことがあります。
- 外部電源が必要なUSBストレージデバイス（0.5 A以上）には専用の電源を接続してください。 専用の電源を接続しない場合、デバイスが認識されないことがあります。
- USBストレージデバイスは、デバイスメーカーから提供されたケーブルを使用して接続してください。
- USBストレージデバイスによっては、サポートされていないか、円滑に動作しない場合があります。
- USBストレージデバイスのファイル配置方法はWindows XPに類似しており、モニターは英字で100文字まで認識できます。
- USBメモリーデバイスに保存されたデータは破損するおそれがあるため、重要なファイルは必ずバックアップしてください。 当社は、いかなるデータ喪失に対する責任も負いかねます。
- USB HDDに外部電源がない場合、USBデバイスが検出されないことがあります。 必ず外部電源を接続してください。
  - 外部電源には電源アダプターを使用してください。
- USBメモリーデバイスに複数のパーティションがある場合、またはUSBマルチカードリーダーを使用している場合、最大で4つのパーティションまたはUSBメモリーデバイスを使用できます。
- USBメモリーデバイスをUSBマルチカードリーダーに接続した場合、ボリュームデータが検出されないことがあります。
- USBメモリーデバイスが正常に動作しない場合は、一度取り外して再度接続してください。
- USBメモリーデバイスの検出速度は、デバイスごとに異なります。
- USBがスタンバイモードで接続されている場合、モニターの電源をオンにしたときに、そのドライブが自動的にロードされます。
- 推奨容量は、外部ハードディスクの場合で1 TB以下、USBメモリーの場合で32 GB以下です。
- 推奨される容量を超える容量のデバイスは、正常に動作しないことがあります。
- 「省エネモード」機能搭載のUSB外部ハードディスクが正常に動作しない場合は、ハードディスクの電源を一度オフにして再びオンにしてください。
- USB 2.0以前のUSBストレージデバイスもサポートされていますが、 ビデオでは正常に機能しないことがあります。
- 1つのフォルダ内では、最大999個のフォルダまたはファイルが認識可能です。
- 認証されているUSBストレージデバイスとケーブルを使用することをお勧めします。 認証されていないUSBストレージデバイスを使用すると、デバイスが検出されなかったり、再生エラーが発生したりする場合があります。
- SuperSign Managerで配信・保存されているファイルを再生する場合、USBメモリーデバイスのみが使用できます。 USBハードディスクまたはマルチカードリーダーでは機能しません。
- SuperSign Managerで配信・保存されているファイルは、FAT 32ファイルシステムでフォーマットされているストレージデバイスのみで再生できます。
- USB 3.0ストレージデバイスは動作しないことがあります。
- 高温の環境に置かれると、USBストレージデバイスに保存されているデータが破損するおそれがあります。
- 3か所以上のUSBポートを同時に使用したコンテンツの再生は避けることをお勧めします。

ファイルの参照

USBストレージデバイスに保存されている画像ファイルを参照します。

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 [Search（検索）]ボタンを押して[マイメディア]を選択し、OKを押します。

3 [Search（検索）]ボタンを押して、目的の[動画リスト]、[写真リスト]、[音楽リスト]、または[コンテンツー覧]OKを押します。

サポートされているファイル形式

タイプ	サポートされているファイル形式			
動画		コーデック	メディアコンテナ	プロフィール
	ビデオ	MPEG1/MPEG2	DAT、MPG、MPEG、TS、TP	1080p @ 30 fps
		MPEG4 (Divx 3.11, Divx4.12, Divx5.x, Divx6, Divx HD, Xvid 1.01, Xvid 1.02, Xvid 1.03, Xvid 1.10-beta1/2)	AVI、DIVX、MP4 、MKV、TS、TRP	1080p @ 30 fps
		H.264	AVI、MP4、MKV、TS、TRP、TP	1080p @ 60 fps
	音声	MP3	MP3	8 kbps～320 kbps（ビットレート） 16 kHz～48 kHz（サンプルレート）
		AC3	AC3	32 kbps～640 kbps（ビットレート） 32 kHz、44.1 kHz、48 kHz（サンプルレート）
		MPEG	MP3	32 kbps～448 kbps（ビットレート） 16 kHz～48 kHz（サンプルレート）
		AAC、HEAAC	MP4	8 kHz～48 kHz（サンプルレート）
		LPCM	AVI、WAV	64 kbps～1.5 Mbps（ビットレート） 8 kHz～48 kHz（サンプルレート）
	ビットレート：8 kbps～320 kbps（MP3） 外部字幕形式：*.smi/*.srt/*.sub（MicroDVD、Subviewer1.0/2.0）/*.ass/*.ssa/*.txt（TMPlayer）/*.psb（PowerDivX） 内部字幕形式：XSUBのみ（これはDivX6ファイルで使用される字幕形式です）			

タイプ	サポートされているファイル形式
写真	JPEG 最小：64 x 64 最大：ノーマルタイプ：15360 x 8640 プログレッシブタイプ：1920 x 1440 BMP 最小：64 x 64 最大：9600 x 6400 PNG 最小：64 x 64 最大：インターレース：1200 x 800 非インターレース：9600 x 6400 • サポートされていないファイルの場合、あらかじめ設定されたアイコンがかわりに表示されます。
音楽	MP3 [ビットレート]32～320 kbps [サンプル周波数]16～48 kHz [サポート]MPEG1、MPEG2、Layer2、Layer3 AAC [ビットレート]自由形式 [サンプル周波数]8～48 kHz [サポート]ADIF、ADTS M4A [ビットレート]自由形式 [サンプル周波数]8～48 kHz [サポート]MPEG-4 OGG [ビットレート]自由形式 [サンプル周波数]～48 kHz [サポート]Vorbis WMA [ビットレート]128～320 kbps [サンプル周波数]8～48 kHz [サポート]WMA7、8、9 Standard WMA 10 Pro [ビットレート]～768 kbps [チャンネル/サンプル周波数] M0：最大2/48 kHz M1：最大5.1/48 kHz M2：最大5.1/96 kHz [サポート]WMA 10 Pro
コンテンツ (SuperSign Manager を使用する場合)	ファイル拡張子：*.cts/ *.sce 動画 ファイル拡張子：*.mpg/*.mpeg/*.dat/*.ts/*.trp/*.tp/*.mp4/*.mkv/*.avi/*. avi（Motion JPEG）/*.mp4（Motion JPEG）/*.mkv（Motion JPEG） ビデオ形式：MPEG1、MPEG2、MPEG4、H.264、DivX 3.11、DivX 4、DivX 5、DivX 6、Xvid 1.00、Xvid 1.01、Xvid 1.02、Xvid 1.03、Xvid 1.10-beta1/2、JPEG オーディオ形式：MP3、Dolby Digital、LPCM、AAC、HE-AAC

動画の表示

USBストレージデバイスに保存されている動画ファイルを再生します。

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[動画リスト]を選択し、OKを押します。

4 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダを選択し、OKを押します。

5 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルを選択し、OKを押します。

- [機器変更]：USBストレージデバイスを選択します。
- [ルートフォルダへ移動]：[マイメディア]のホーム画面に戻ります。
- [上位フォルダへ移動]：前の画面に戻ります。
- [閉じる]：[マイメディア]を終了します。

6 動画の再生中にOKを押すと、次の設定を表示できます。

リモコンボタン	説明
■	再生を停止します。
▶	ビデオを再生します。
❚❚	再生を一時停止または再開します。
◀◀	ファイル内を後方向にスキャンします。
▶▶	ファイル内を前方向にスキャンします。
eco	画面の明るさを調節して、電力消費を抑えることができます。
SETTINGS	[機器設定]メニューを表示します。
↩ BACK	全画面表示でメニューを非表示にします。
EXIT	[動画リスト]に戻ります。
◀または▶	再生中に、ファイル内の特定のポイントにスキップします。 そのポイントの時間は、ステータスバーに表示されます。 ファイルによっては、この機能が適切に動作しない場合があります。

ビデオファイル再生の使用のヒント

- ユーザーが作成した字幕は正常に動作しないことがあります。
- 一部の特殊文字は字幕ではサポートされていません。
- HTMLタグは字幕ではサポートされていません。
- サポートされていない言語の字幕は使用できません。
- 音声言語を変更するとスクリーンが一時的に乱れる（画像が停止する、再生速度が速くなるなど）ことがあります。
- 破損した動画ファイルは正常に再生されないことがあります。また、プレーヤー機能の一部が使用できないことがあります。
- 一部のエンコーダで作成された動画ファイルは正常に再生されないことがあります。
- 録画ファイルのビデオとオーディオがインターリーブ構造になっていない場合、ビデオとオーディオのいずれかのみが出力されます。
- HDビデオについては、フレームに応じて、最大1920 X 1080 @ 25/30pまたは1280 X 720 @ 50/60pがサポートされています。
- 1920 X 1080 @ 25/30pまたは1280 X 720 @ 50/60pを超える解像度のビデオは、フレームによっては正常に動作しないことがあります。
- 指定した種類および形式以外の動画ファイルは正常に動作しないことがあります。
- 再生可能な動画ファイルの最大ビットレートは20 Mbpsです （ただしMotion JPEGに限り10 Mbps）。
- H.264/AVCのレベル4.1以上でエンコードされたプロファイルについては、円滑な再生は保証いたしかねます。
- DTS音声コーデックはサポートされていません。
- 30 GBを超えるサイズの動画ファイルの再生はサポートされていません。
- DivXの動画ファイルと字幕ファイルは、同じフォルダーに配置する必要があります。
- ビデオファイル名と字幕ファイル名が同じでないと、字幕は表示されません。
- 高速転送をサポートしていないUSB接続経由でビデオを再生すると、ビデオが正常に動作しないことがあります。
- GMC（グローバル動き補償）でエンコードされたファイルは再生できないことがあります。

ビデオオプション

1 SETTINGSを押して、ポップアップメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[Set Video Play（ビデオ再生の設定）]、[Set Video（ビデオの設定）]、または[Set Audio（音声の設定）]を選択し、OKを押します。

ヒント

- [動画リスト]で変更されたオプション値は、[写真リスト]または[音楽リスト]には影響しません。したがって、これらは[写真リスト]または[音楽リスト]で変更されたオプション値には影響されません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更されたオプション値は、相互に影響します。
- ビデオファイルを停止した後にもう一度再生すると、停止した箇所から再生できます。

[映像再生設定]を選択して、以下のメニューを表示します。

メニュー	説明
アスペクト比	動画再生で使用する映像の形式を選択します。
音声言語	動画再生で使用するオーディオの言語グループを変更します。 オーディオトラックが単一のファイルでは選択できません。
字幕言語	字幕の表示と非表示を切り替えます。
言語設定	SMI字幕で使用でき、字幕内で言語を選択できます。
コードページ	字幕のフォントを選択できます。 デフォルトに設定すると、一般メニューと同じフォントが使用されます。
同期	動画再生時の字幕の同調を調整します。-10秒から+10秒まで0.5秒刻みで調整できます。
位置	動画再生時の字幕の位置を上下に移動します。
サイズ	動画再生で使用する字幕のサイズを選択します。
繰り返し	動画再生の繰り返し機能のオンとオフを切り替えます。 オンにした場合は、フォルダ内のファイルが繰り返し再生されます。 繰り返し再生がオフになっている場合でも、ファイル名が前のファイルと似ている場合は再生される場合があります。

ヒント

- 字幕ファイルでは、同調ブロック10,000個まで使用できます。
- ビデオを再生するときは、ARCボタンを押して映像サイズを調整できます。
- お客様の言語の字幕は、OSDメニューもその言語になっている場合にのみサポートされます。
- コードページのオプションは、字幕ファイルの言語によっては無効となることがあります。
- 字幕ファイルに対応したコードページを選択してください。

写真の表示

USBストレージデバイスに保存されている画像ファイルを表示します。

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[写真リスト]を選択し、OKを押します。

4 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダを選択し、OKを押します。

5 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルを選択し、OKを押します。

- [機器変更]：USBストレージデバイスを選択します。
- [ルートフォルダへ移動]：[マイメディア]のホーム画面に戻ります。
- [上位フォルダへ移動]：前の画面に戻ります。
- [閉じる]：[マイメディア]を終了します。

6 写真の表示中に以下の設定を表示できます。

メニュー	説明
スライドショー	選択した写真によるスライドショーを開始または停止します。 選択した写真がない場合は、現在のフォルダに保存されているすべての写真がスライドショーで表示されます。 スライドショーの速度を設定するには、[オプション]を選択します。
BGM	バックグラウンドミュージックのオン/オフを切り替えます。 バックグラウンドミュージックフォルダを設定するには、[オプション]を選択します。 オプションは、リモコンのSETTINGSボタンで調整できます。
↻	写真を時計回りで回転させます（90 度、180 度、270 度、360 度）。 ヒント • サポートされる写真サイズには制限があります。 回転される幅の解像度が、サポートされている解像度サイズよりも大きい場合、写真を回転することはできません。
🔍	写真を100 %、200 %、または400 %に拡大します。 ヒント • 100 x 100ピクセル以下の画像は、部分的な拡大をサポートしていません。
eco	省エネのために画面の明るさを調整します。
オプション	オプションを表示します。
隠す	オプションウィンドウを非表示にします。 オプションを表示するには、OKを押します。
閉じる	[写真リスト]に戻ります。

写真オプション

1 SETTINGSを押して[機器設定]メニューを表示します。

2 ナビゲーション ボタンを押して[写真表示設定]、[映像設定]、または[音声設定]を選択し、OKを押します。

ヒント

- [動画リスト]で変更されたオプション値は、[写真リスト]または[音楽リスト]には影響しません。したがって、これらは[写真リスト]または[音楽リスト]で変更されたオプション値には影響されません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更されたオプション値は、相互に影響します。

[写真表示設定]を選択して、以下のメニューを表示します。

メニュー	説明
スライド速度	スライドショーの速度を選択します （オプション：[Fast（速い）]、[中]、[Slow（遅い）]）。
BGM	バックグラウンドミュージックの音楽フォルダを選択します。
繰り返し	バックグラウンドミュージックを繰り返し再生します。
ランダム	バックグラウンドミュージックをランダムに再生します。

音楽の再生

USBストレージデバイスに保存されている音楽ファイルを再生します。

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[音楽リスト]を選択し、OKを押します。

4 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダを選択し、OKを押します。

5 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルを選択し、OKを押します。

- [機器変更]：USBストレージデバイスを選択します。
- [ルートフォルダへ移動]：[マイメディア]のホーム画面に戻ります。
- [ミュージックプレーヤー開始]：音楽の設定ウィンドウが開きます。 この機能は、再生中にのみ有効になります。
- [上位フォルダへ移動]：前の画面に戻ります。
- [閉じる]：[マイメディア]を終了します。

6 音楽の再生中にOKまたは青ボタン（■）を押すと、次の設定画面が表示されます。

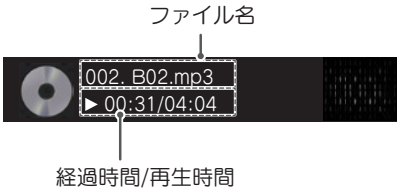
リモコンボタン	説明
■	ファイルの再生を停止し、音楽リスト]に戻ります。
▶	音楽ファイルを再生します。
❚❚	再生を一時停止または再開します。
◀◀	前のファイルにスキップします。
▶▶	次のファイルにスキップします。
eco	省エネのために画面の明るさを調整します（[オフ]と[映像オフ]のみが機能します）。
SETTINGS	[機器設定]メニューを表示します。
↩ BACK	オプションウィンドウを非表示にします。 オプションを表示するには、OKを押します。
EXIT	[音楽リスト]に戻ります。
◀または▶	再生中に、ファイル内の特定のポイントにスキップします。 そのポイントの時間は、ステータスバーに表示されます。 ファイルによっては、この機能が適切に動作しない場合があります。

音楽ファイルの再生のヒント

- この装置は、MP3ファイルに組み込まれているID3タグをサポートしていません。

ヒント

- 破損した音楽は再生されず、再生時間は00:00と表示されます。
- 有料サービスからダウンロードした、著作権保護付きの音楽は開始されず、不正確な再生時間が表示されます。
- OKボタンまたは(■)ボタンを押すと、スクリーンセーバーが停止します。
- このモードでは、リモコンの(▶)、(❚❚)、(■)、(▶▶)、(◀◀)ボタンも使用できます。
- (▶▶)ボタンを押すと次の曲を、(◀◀)ボタンを押すと前の曲を選択できます。



音楽オプション

1 SETTINGSを押して、ポップアップメニューを表示します。

2 ナビゲーション ボタンを押して[音声再生設定]または[音声設定]を選択し、OKを押します。

ヒント

- [動画リスト]で変更されたオプション値は、[写真リスト]または[音楽リスト]には影響しません。したがって、これらは[写真リスト]または[音楽リスト]で変更されたオプション値には影響されません。
- [写真リスト]および[音楽リスト]で変更されたオプション値は、相互に影響します。

[音声再生設定]を選択した場合

メニュー	説明
繰り返し	音楽の再生を繰り返します。
ランダム	ミュージックトラックをランダムに再生します。

コンテンツー覧の表示

SuperSign Managerの[エクスポート]オプションを使用して、保存されているファイルを再生します。

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[マイメディア]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して[コンテンツー覧]を選択し、OKを押します。

4 ナビゲーションボタンを押して目的のフォルダを選択し、OKを押します。

5 ナビゲーションボタンを押して目的のファイルを選択し、OKを押します。

- [機器変更]：USBストレージデバイスを選択します。
- [ルートフォルダへ移動]：[マイメディア]のホーム画面に戻ります。
- [上位フォルダへ移動]：前の画面に戻ります。
- [閉じる]：[マイメディア]を終了します。

ヒント

- [コンテンツー覧）]からメディアファイルを再生している間、[BACK]、[EXIT]、または[Volume]ボタンのみ利用できます。 [BACK]または[EXIT]ボタンを選択すると、メディアファイルの再生を停止し、コンテンツー覧に戻ります。
- SuperSignソフトウェアを利用する配布機能を使用する場合、コンテンツの保存に使用されるストレージデバイスは、残りのメモリー容量のサイズによって決定されます。（ヒント：USBポート1と2でメモリー容量が同じである場合、コンテンツはUSBポート1に接続されているストレージデバイスに保存されます。）
- USBデバイスにAutoPlayフォルダーがあり、ファイルがサポートされる形式である場合、USBデバイスをモニターに接続したとき、自動的に再生できます。
- 3か所以上のUSBポートを同時に使用したコンテンツの再生は避けることをお勧めします。
- SuperSignソフトウェアを通じて配布またはコンテンツのスケジュールの再生が行われた場合、最後に実行されたスケジュールが再生されます。

設定のカスタマイズ

メインメニューへのアクセス

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して次のメニューのいずれかを選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。 前のメニューに戻るには、BACKを押します。

- [映像]：映像のサイズ、品質、または効果を調整します。
- [音声]：音質、効果、または音量を調整します。
- [タイマー設定]：時刻、日付、またはタイマー機能を設定します。
- [機器設定]：一般的な設定をカスタマイズします。
- [ネットワーク]：ネットワーク設定を行います。
- [マイメディア]：USBまたはサイネージデバイス（内蔵ストレージデバイス）に保存されている動画、写真、および音楽コンテンツを表示および再生します。

[映像]設定

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[映像]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。
前のメニューに戻るには、BACKを押します。

使用可能な映像設定は次のとおりです。

項目	説明	
映像省エネ設定	画面のピークの明るさを調節して消費電力を削減します。	
	レベル	
	オフ	映像省エネ設定の機能を無効にします。
	最小/中/最大	バックライトの明るさレベルを選択します。
	映像オフ	画面が3秒でオフになります。
スマート省エネ	画面の明るさに応じて、バックライトとコントラストを調整します。	
	レベル	
	オフ	スマート省エネ機能を無効にします。
	オン	スマート省エネ機能を有効にして、スマート省エネレートで設定された値で消費電力を節約します。
映像モード	視聴環境や番組に最適な映像モードを選択します。	
	モード	
	あざやか	コントラスト、明るさ、シャープネスを強めて、あざやかな映像を表示します。
	標準	標準的なコントラスト、明るさ、シャープネスで映像を表示します。
	APS	APS（自動省エネ設定）モードでは、コントロールの輝度制御で電力消費が削減されます。
	シネマ	映画のような画像にビデオ映像を最適化して、映画館にいるかのように映画を楽しむことができます。
	スポーツ	主要な色（白、芝生、空色など）を強調することで、力強くダイナミックな動作用にビデオ映像を最適化します。
	ゲーム	高速なゲーム画面（PCやゲーム機など）用にビデオ映像を最適化します。
	キャリブレーション	ユーザーがカスタマイズしたホワイトバランスが標準に基づいて適用されます。
	シネマ1·2	エキスパートや一般ユーザーがモニターを最適な映像品質に調整できるようにするためのメニューです。
画面サイズ	映像を最適なサイズで表示するために、映像サイズを変更します。	

項目	説明	
スクリーン（RGB モードのみ）	RGBモードでPCモニターオプションをカスタマイズします。	
	オプション	
	解像度	適切な解像度を選択します。
	自動画面調整	画面の位置、時刻、およびフェーズを自動的に調整するために設定します。 自動画面調整の実行中は、表示される映像が数秒間不安定になります。
	位置/大きさ/フェーズ	自動調整後の映像が鮮明でなく、特に文字が揺れている場合は、これらのオプションを調整します。
	リセット	オプションをデフォルト設定に戻します。

映像の基本オプション

項目	説明
バックライト	LCDバックライトを制御して、画面の明るさを調整します。 明るさのレベルを落とすと、画面が暗くなり、消費電力が削減され、映像信号の損失もありません。
コントラスト	映像信号の階調度を高めたり低めたりします。 [コントラスト]は、映像の明るい部分が多い場合に使用できます。
明るさ	映像内の信号の基本レベルを調整します。 [明るさ]は、映像の暗い部分が多い場合に使用できます。
シャープネス	映像の明るい部分と暗い部分の境界のシャープネスを調整します。 レベルが低いほど柔らかい印象になります。
色の濃さ	すべてのカラーの強度を調整します。
色合い	赤と緑のレベル間のバランスを調整します。
色温度	赤などの暖かい色を強調するには暖色に設定し、映像をより青っぽくするには冷色に設定します。
詳細設定/ 詳細設定	[映像モード]ごとに映像を調整することも、特定の映像に従って映像設定を調整することもできます。 最初に目的の[映像モード]を選択します。 [映像モード]が[Vivid（ビビッド）]に設定されている場合、このオプションは使用できません。
オプション	その他の映像オプションを設定します。
リセット	オプションをデフォルト設定に戻します。

ヒント

- 映像モードを選択すると、関連するメニューが自動的に設定されます。
- スマート省エネ機能を使うと、静止画の白い領域がサチュレーションして見えることがあります。
- [映像省エネ設定]を[最小]、[中]、[最大]に設定すると、スマート省エネ機能が無効になります。

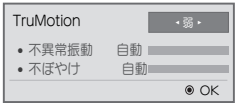
詳細設定 - 映像モード（標準/APS/スポーツ/ゲーム/キャリブレーション）

項目	説明
ダイナミックコントラスト	映像の明るさに合わせてコントラストが最適になるように調整します。
ダイナミックカラー	自然な色に見えるように色を調整します。
色域	表現される色域を選択します。
肌色の補正	肌色のスペクトルを個別に設定して、ユーザー定義の肌色に補正することができます。
青色の補正	青色を個別に設定できます。
緑色の補正	草木の色のスペクトル（草地や丘など）を個別に設定できます。
ガンマ	階調曲線を、映像の出入力信号の比に応じて設定します。

詳細設定 - 映像モード（シネマ/シネマ1/シネマ2）])

項目	説明
ダイナミックコントラスト	映像の明るさに合わせてコントラストが最適になるように調整します。（この機能は、次のモードで動作します - HDMI-DTV）。
色域	表現される色域を選択します。
輪郭補正	映像のエッジをよりクリアにはっきりとさせながら、自然に表示します。
カラーフィルター	RGBカラーの特定の色スペクトルをフィルターして、彩度と色相を正確に設定できます。
色温度	画面全体の色調を好みに合わせて調整します。 詳細な調整は、エキスパートモードで、ガンマメソッドなどを使用して設定可能です。
カラーマネージメント	これは、エキスパートがテストパターンを使って色を調整するときに使用するシステムです。 エキスパートは、他の色に影響を与えずに6色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、黄）の中から選択することができます。 通常の映像の場合、調整を行っても顕著な色の変化は現れないことがあります。

オプション - HDMI（DTV）モード

項目	説明
ピクチャーノイズリダクション	ビデオの画面ノイズを減らします。
MPEGノイズリダクション	デジタルビデオを圧縮することによって発生するノイズを減らします。
黒レベル	画面の暗さの度合い（黒レベル）を使用して、映像入力の黒レベルに合わせて画面の明るさまたは暗さを調整します。
リアルシネマ	映画の視聴用に画面を最適化します。
TruMotion（この機能は、65SE3Bおよび65SE3KBのみでサポートされます。）	連続した動きがよりスムーズになるように、映像を修正します。 • オフ：TruMotionをオフにします。 • Smooth/Clear（弱/強）：[不異常振動/不ぼやけ]を[自動]に設定できます。 • ユーザー：[不異常振動/不ぼやけ]を手動で設定できます。 - [不異常振動]：この機能は画面の振動を 調整します。 - [不ぼやけ]：この機能は画面のぼやけを調整して除去します。 

[音声]設定

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[音声]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。
前のメニューに戻るには、BACKを押します。

使用可能な音声設定は次のとおりです。

項目	説明	
サウンドモード	カスタム設置したモニターの音声を最適化できます。	
	レベル	
	標準	すべてのタイプのビデオに適しています。
	ニュース/音楽/シネマ/スポーツ/ゲーム	特定のジャンルに最適な音声に設定します。
サウンドエフェクト	ユーザーはさまざまなサウンドエフェクトを選択できます。 - [サウンドエフェクト]機能は、[サウンドモード]メニューの[標準]モードでのみ使用できます。	
	レベル	
	クリアボイスII	音声の明瞭さが向上します。
	バーチャルサラウンド	LG独自の音声処理テクノロジーで、2つのスピーカーから5.1 Chのようなサラウンドサウンドを実現します。 - [クリアボイス Ⅱ]が[オン]に設定されている場合、[バーチャルサラウンド]は選択できません。
	イコライザー	イコライザーを使用して、好みのレベルになるように音量を調整します。
	バランス	左/右の音声バランスを調整します。
	リセット	[サウンドエフェクト]メニューの設定をリセットできます。
AVシンク	音声と映像がずれているときに、直接同期させます。 [AVシンク]を[オン]に設定した場合は、音声出力を画面の映像に対応させることができます。 ● スピーカー：スピーカーからのサウンドの同期を調整します。 音声出力を速くするには-（マイナス）ボタンを、デフォルト値よりも速度を落とすには+（プラス）ボタンを使用します。 ● 無し：外部機器の音声の遅延をなくします。 モニターへの映像入力の処理には時間がかかるため、音声が映像より先に出力されてしまうことがあります。	

ヒント

- 内蔵スピーカーを備えていないモデルもあります。 このようなモデルの場合、音を再生するには外部スピーカーを接続する必要があります。

タイマー設定

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[タイマー設定]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。
前のメニューに戻るには、BACKを押します。

使用可能なタイマー設定は次のとおりです。

項目	説明	
時刻設定	時刻機能を設定します。	
	レベル	
	自動	現在の時刻は、ネットワークへの接続時に、選択された国に応じて入力されます。
	手動設定	現在の時刻を手動で入力する必要があります。
オン/オフタイマー	モニターセットの電源をオンまたはオフにする時間を設定します。	
自動オフ（15分）	自動オフが有効になっていて入力信号がない場合、15分後にシステムは自動的にオフモードに切り替わります。	
自動スタンバイ	設定された時間にわたってモニターが操作されなかった場合、自動的にスタンバイモードになります。	

ヒント

- オンタイマー/オフタイマーは最大7つの予約に対して保存できます。予約一覧で設定されている時刻になると、モニターの電源がオンまたはオフになります。 予約一覧に複数の時刻が設定されている場合、この機能は現在の時刻から一番近い時刻に動作します。
- オンタイマーまたはオフタイマーは一度設定すると、設定した時刻に毎日作動します。
- スケジュールされた電源オンと電源オフの時刻が同一の場合、セットがオンであれば電源オフの時刻が優先されます。セットがオフであればその逆になります。
- ポート123がファイアウォールでブロックされている場合、モニターはネットワークから現在の時刻を受信できません。

機器設定

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[機器設定]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。
前のメニューに戻るには、BACKを押します。

使用可能な機器設定は次のとおりです。

項目	説明	
言語設定	表示するテキストの言語を選択します。	
国	国を選択します。	
DivX(R) VOD	DivXを登録または解除します。 DivXのプロテクト映像を再生するためのDivX登録コードを確認します。 登録は*http://vod.divx.com*で行います。 登録コードは、*www.divx.com/vod*で映画をレンタルまたは購入するために使用します。 * レンタル/購入したDivXファイルは、他の機器のDivX登録コードを使用した場合は再生できません。 この機器に対して付与されたDivX登録コードのみを使用してください。 * DivXコーデック標準に準拠していない変換ファイルは、再生できない場合や、画像が正しく再生されない場合があります。	
初期化	すべての機器設定が削除され、デフォルトモードに戻ります。	
セットID	ディスプレイのために複数の製品を接続する場合、製品ごとに固有のセットID番号を割り当てることができます（名前の割り当て）。 ボタンを使用して番号（1～255または1～1,000）を指定し、終了します。 製品制御プログラムでは、割り当てられたセットIDを使用して各製品を個別に制御します。	
タイルモード	タイルモード	この機能を使用するには - 他の製品を使用して表示する必要があります。 - [タイルモード]を選択して行と列を設定し、タイルIDを入力して位置を設定します。 - [タイルモード]：行 x 列（行 = 1～15、列 = 1～15）。 - 15 x 15まで使用可能です。
	自動	画面の位置、時刻、およびフェーズを自動的に調整するために設定します。 自動画面調整の実行中は、表示される映像が数秒間不安定になります。
	位置	画面の位置を水平および垂直に移動します。
	サイズ	ベゼルのサイズを考慮に入れて、画面の水平および垂直方向のサイズを調整します。
	ナチュラル	より自然なディスプレイになるように、画面間の距離に合わせて映像の一部が省かれます。
	リセット	これは、タイルを初期化して解除する機能です。 すべてのタイル設定は、Tile recall（タイルリコール）を選択すると解除され、画面はフルスクリーンに戻ります。 * ナチュラルは初期化されません。

<table>
<tr><th>項目</th><th colspan="2">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="5">コンテンツのスケジュール</td><td colspan="2">簡単なスケジュールを作成して、[マイメディア]のファイルを使用した再生を設定します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">レベル</td></tr>
<tr><td>スケジュールの追加</td><td>コンテンツのスケジュールを作成します。
- [メディア]：コンテンツのスケジュールを適用するファイルを選択します。
- [作成]を選択してコンテンツのスケジュールを登録します。</td></tr>
<tr><td>再生</td><td>コンテンツのスケジュールを再生します。</td></tr>
<tr><td>全削除</td><td>すべての登録済みスケジュールを削除します。</td></tr>
<tr><td colspan="3">ヒント
• 登録済みスケジュールの情報はUSBストレージデバイスに保存されます。 USBストレージデバイスが取り外されている場合、この機能は動作しません。
• 映像のサイズは1920 x 1080です。
• 写真とビデオのファイルのみを使用できます。
• 最大50ファイル（写真ファイル + ビデオファイル = 50）を追加できます。
• 解像度が1920 x 1080以下の写真のみがサポートされます。
• 写真のデフォルトの表示時間は1分です。 動画の再生時間は、実行時間によって異なります。
• 最大7つのスケジュールを作成できます。
• ファイルが選択されていない場合、スケジュールを登録できません。
• PCなどを使用して非正規の手順で情報が変更されたコンテンツスケジュールは、適切に機能しない場合があります。
• SuperSignソフトウェアを通じて配布またはコンテンツのスケジュールの再生が行われた場合、最後に実行されたスケジュールが再生されます。</td></tr>
</table>

タイルモード

このモニターは、追加のモニターをタイルのように並べて配置することで、さらに大きなサイズのタイルディスプレイ環境を実現できます。

オフ

[タイルモード] オプションが無効な場合

1 X 2

2つのモニターを使用する場合



2 X 2

4つのモニターを使用する場合



3 X 3

9つのモニターを使用する場合



4 X 4

16のモニターを使用する場合



5 X 5

25のモニターを使用する場合



タイルモード - ナチュラルモード

アクティブな場合、通常はモニター間の隙間に表示される映像の部分が省略されます。

適用前



適用後



[ネットワーク]設定

1 SETTINGSを押して、メインメニューを表示します。

2 ナビゲーションボタンを押して[ネットワーク]を選択し、OKを押します。

3 ナビゲーションボタンを押して目的の設定またはオプションを選択し、OKを押します。
- 前のレベルに戻るには、BACKを押します。

4 完了したら、EXITを押します。
前のメニューに戻るには、BACKを押します。

使用可能な機器設定は次のとおりです。

項目	説明	
ネットワーク設定	ネットワークを設定します。	
	ネットワーク設定	無線LAN・Bluetoothアダプターが接続されている場合、使用可能なワイヤレスネットワークを表示して接続できます。
ネットワーク状態	ネットワーク状態を表示します。	

ネットワーク接続のオプション

項目	説明
APリストから設定します	ワイヤレスネットワークに接続するAPを選択します。
シンプル設定（WPS-button mode）	PBCをサポートしているワイヤレスルーターのボタンを押して、ルーターに簡単に接続できます。

トラブルシューティング

映像が表示されない

問題	アクション
電源が入らない	• 電源コードがコンセントに正しく差し込まれているかどうかを確認してください。
「信号が範囲外である」というメッセージが表示される	• PC（ビデオカード）からの信号が、製品の垂直周波数または水平周波数の範囲から外れています。 この取扱説明書にある仕様を参照して、周波数の範囲を調整してください。
「信号ケーブルを確認します」というメッセージが表示される	• PCと製品が信号ケーブルで接続されていません。 信号ケーブルを確認してください。 • リモコンのINPUTメニューを押して入力信号を確認してください。

製品の接続時に「Unknown Product（不明な製品）」というメッセージが表示される。

問題	アクション
正常に認識されない	• ビデオカードのユーザーマニュアルを参照して、プラグアンドプレイ機能がサポートされているかどうかを確認してください。

画面の映像が適切に表示されない。

問題	アクション
画面の位置がずれて表示される	• D-subアナログ信号 - リモコンのAUTOボタンを押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[映像] - [スクリーン] - [位置]を選択して、調節ください。 • ビデオ カードの解像度と周波数が製品でサポートされていることを確認します。 周波数がサポート範囲から外れている場合、コントロールパネルの[画面]設定メニューで推奨の解像度に設定してください。
画面の背景に細い線が表示される	• D-subアナログ信号 - リモコンのAUTOボタンを押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[映像] - [スクリーン] - [サイズ]を選択して調整してください。
水平方向のノイズが表示されます。または、文字がぼやける	• D-subアナログ信号 - リモコンのAUTOボタンを押すと、現在のモードに合わせて最適な画面状態が自動的に選択されます。調整が十分ではない場合は、OSDメニューの[映像] - [スクリーン] - [フェーズ]を選択して調整してください。
画面が正常に表示されない	• 適切な入力信号が信号ポートに接続されていません。 ソース入力信号に合った信号ケーブルを接続してください。

画面に残像が表示される。

問題	アクション
製品の電源をオフにすると、残像が表示される	• 同じ画像を長期間使用していると、ピクセルがダメージを受ける可能性があります。 スクリーンセーバー機能を使用してください。 • コントラストの高い画像（黒と白またはグレー）の表示後に黒い画像が表示される場合、残像が発生する可能性があります。 LCDモニターの場合、これは正常な現象です。

オーディオが機能しない。

問題	アクション
音が聞こえない	• オーディオケーブルが適切に接続されていることを確認てください。 • 音量を調整してください。 • サウンドが適切に設定されているかどうかを確認してください。
音がクリアでない	• 適切なイコライザーサウンドを選択してください。
音量が小さすぎる	• 音量を調整してください。

画面の色が正常ではない。

問題	アクション
画面の色の解像度が低くなっている（16色）。	• 24ビット（True Color）以上の色数に設定します。 Windowsで、[コントロール パネル] - [画面] - [設定] - [画面の色]を選択してください。
画面の色が不安定または モノクロで表示される。	• 信号ケーブルの接続状態を確認します。 または、PCのビデオカードが正しく接続されているか確認してください。
画面に黒い点が表示される	• いくつかのピクセル（赤、緑、白、または黒）が画面に表示されることがあります。この現象は、LCDパネルに固有の特性が原因です。 これはLCDの機能不良ではありません。

正常に動作しない。

問題	アクション
電源が突然オフになった	• [オフタイマー]は設定されていますか？ • 電源コントロールの設定を確認します。 電源の障害です。

製品仕様

以下の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

"~"は交流（AC）を表し、" ⎓"は直流（DC）を表します。

LCDパネル	画面タイプ	LCD（Liquid Crystal Display）パネル
映像信号	最大解像度	1920 x 1080（60 Hz） - OSまたはビデオカードタイプよってはサポートされていない場合があります。
	推奨解像度	1920 x 1080（60 Hz） - OSまたはビデオカードタイプよってはサポートされていない場合があります。
	水平周波数	RGB：30 kHz～83 kHz HDMI/DVI-D：28,1 kHz～83 kHz
	垂直周波数	RGB：50 Hz～75 Hz HDMI/DVI-D：56 Hz～60 Hz
	同期方法	セパレート同期、デジタル
入力コネクタ	**SE3B/**SL5B	HDMI, DVI-D, RGB, Audio IN/OUT, Speaker OUT, EXT IR IN, USB, RS-232C IN/OUT, LAN
	**SE3KB	HDMI, DVI-D, RGB, Audio IN/OUT, EXT IR IN, USB, RS-232C IN/OUT, LAN
外部環境条件	動作温度 動作湿度	0 ° C～40 ° C 10%～80%
	保管温度 保管湿度	-20～60 ° C 5%～85%

* スピーカーをサポートしているモデルにのみ取り付け可能です。

音声/AUDIO	RMS音声出力	10 W + 10 W（R + L）
	入力感度	0.7 Vrms
	スピーカーのインピーダンス	6 Ω

32SE3B

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.36375 mm（横） x 0.36375 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.4 A
	消費電力	オンモード：140 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	729.4 mm x 428.9 mm x 55.5 mm / 5.2 kg
	本体 + スタンド	729.4 mm x 481 mm x 154.2 mm / 6 kg
	本体 + スピーカー	729.4 mm x 428.9 mm x 95.7 mm / 5.7 kg
	本体 + スピーカー + スタンド	729.4 mm x 481 mm x 154.2 mm / 6.5 kg

32SE3KB

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.36375 mm（横） x 0.36375 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.4 A
	消費電力	オンモード：140 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	729.4 mm x 428.9 mm x 55.5 mm / 5.4 kg
	本体 + スタンド	729.4 mm x 481 mm x 154.2 mm / 6.2 kg

43SE3B 43SL5B

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.4902 mm（横） X 0.4902 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 0.9 A
	消費電力	オンモード：90 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	969.6 mm x 563.9 mm x 38.6 mm / 9.8 kg
	本体 + スタンド	969.6 mm x 622.2 mm x 193 mm / 12.3 kg
	本体 + スピーカー	969.6 mm x 563.9 mm x 67.9 mm / 10.3 kg
	本体 + スピーカー + スタンド	969.6 mm x 622.2 mm x 193 mm / 12.8 kg

43SE3KB

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.4902 mm（横） X 0.4902 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 0.9 A
	消費電力	オンモード：90 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	969.6 mm x 563.9 mm x 54.0 mm / 10 kg
	本体 + スタンド	969.6 mm x 622.2 mm x 193 mm / 12.5 kg

49SE3B　49SL5B

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.55926 mm（横） X 0.55926 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.0 A
	消費電力	オンモード：100 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1102.2 mm x 638.5 mm x 38.6 mm / 14.1 kg
	本体 + スタンド	1102.2 mm x 696.8 mm x 219.6 mm / 17.4 kg
	本体 + スピーカー	1102.2 mm x 638.5 mm x 67.9 mm / 14.6 kg
	本体 + スピーカー + スタンド	1102.2 mm x 696.8 mm x 219.6 mm / 17.9 kg

49SE3KB

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.55926 mm（横） X 0.55926 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.0 A
	消費電力	オンモード：100 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1102.2 mm x 638.5 mm x 54.0 mm / 14.3 kg
	本体 + スタンド	1102.2 mm x 696.8 mm x 219.6 mm / 17.6 kg

55SE3B 55SL5B

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.630 mm（横） x 0.630 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.1 A
	消費電力	オンモード：110 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1238 mm x 714.9 mm x 38.6 mm / 17.3 kg
	本体 + スタンド	1238 mm x 773.4 mm x 219.6 mm / 20.6 kg
	本体 + スピーカー	1238 mm x 714.9 mm x 67.9 mm / 17.8 kg
	本体 + スピーカー + スタンド	1238 mm x 773.4 mm x 219.6 mm / 21.1 kg

55SE3KB

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.630 mm（横） x 0.630 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.1 A
	消費電力	オンモード：110 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1238 mm x 714.9 mm x 54.0 mm / 17.5 kg
	本体 + スタンド	1238 mm x 773.4 mm x 219.6 mm / 20.8 kg

65SE3B

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.744 mm（横） x 0.744 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.4 A
	消費電力	オンモード：140 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1456.9 mm x 838 mm x 41.1 mm / 27.7 kg
	本体 + スタンド	1456.9 mm x 898.1 mm x 293.7 mm / 32.9 kg
	本体 + スピーカー	1456.9 mm x 838 mm x 70.4 mm / 28.2 kg
	本体 + スピーカー + スタンド	1456.9 mm x 898.1 mm x 293.7 mm / 33.4 kg

65SE3KB

LCDパネル	ピクセルピッチ	0.744 mm（横） x 0.744 mm（縦）
電源	定格電圧	100 V~, 50/60 Hz, 1.4 A
	消費電力	オンモード：140 W（最大） スリープモード：≤ 0.5 W スタンバイモード：≤ 0.5 W
寸法（幅 x 高さ x 奥行）/重量	本体	1456.9 mm x 838 mm x 56.5 mm / 27.9 kg
	本体 + スタンド	1456.9 mm x 898.1 mm x 293.7 mm / 33.1 kg

製品の寸法

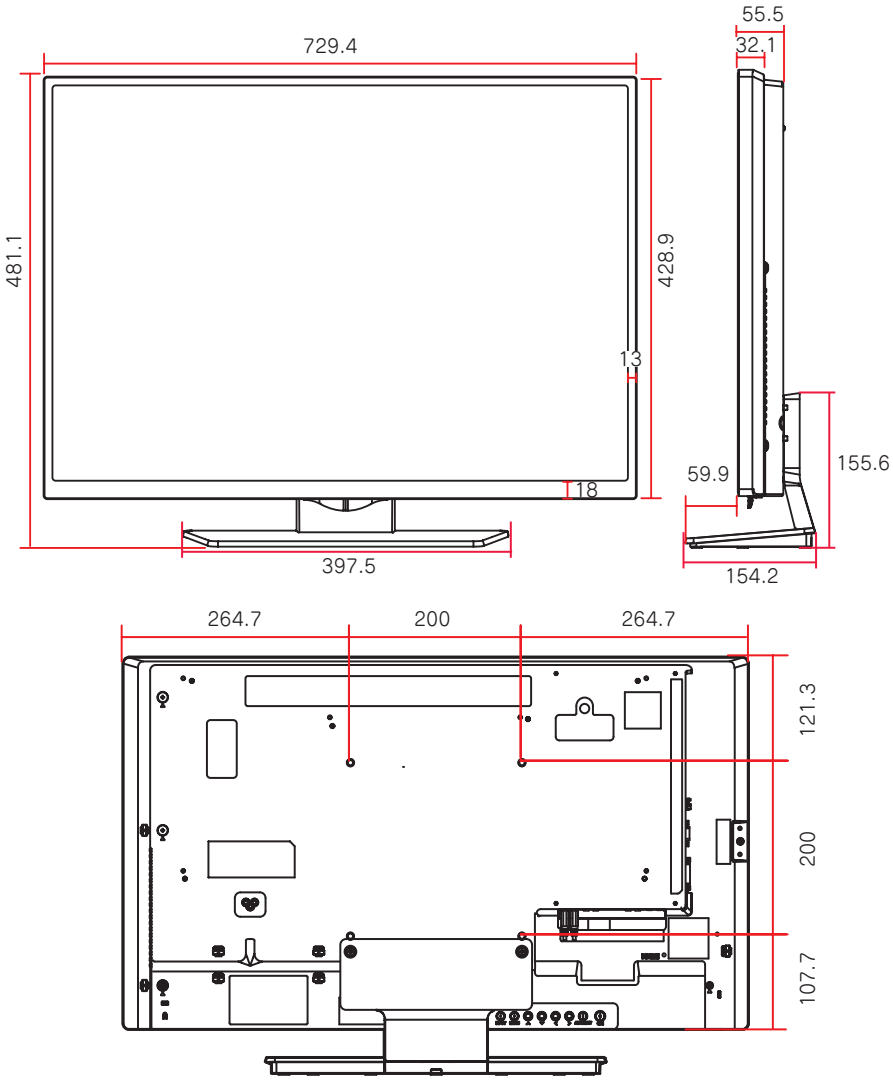
実際の製品および付属品の外見は、この取扱説明書にある図とは異なることがあります。

ネジのサイズについては、「壁への取り付け」セクションを参照してください。

以下の製品仕様は、製品の機能をアップグレードするため事前の通告なしに変更されることがあります。

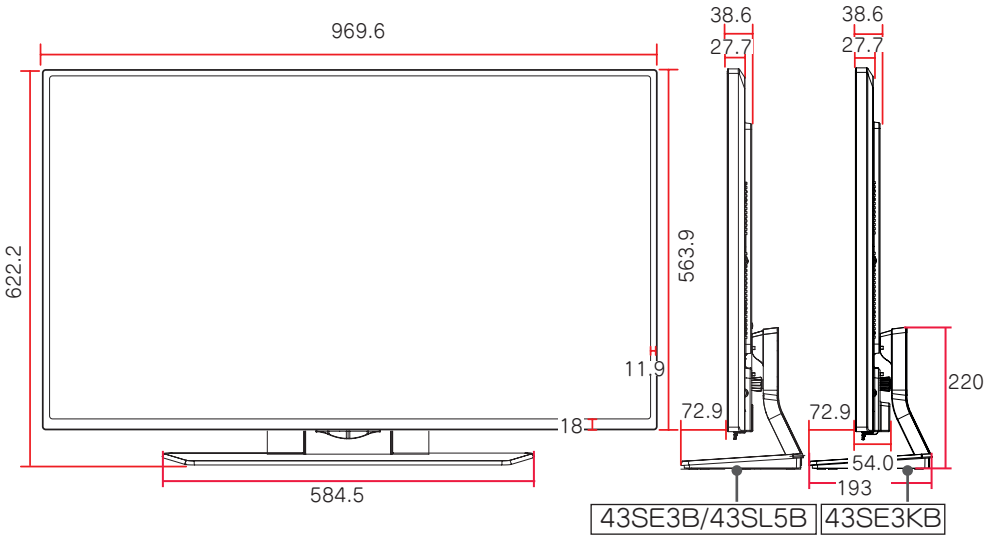
32SE3*

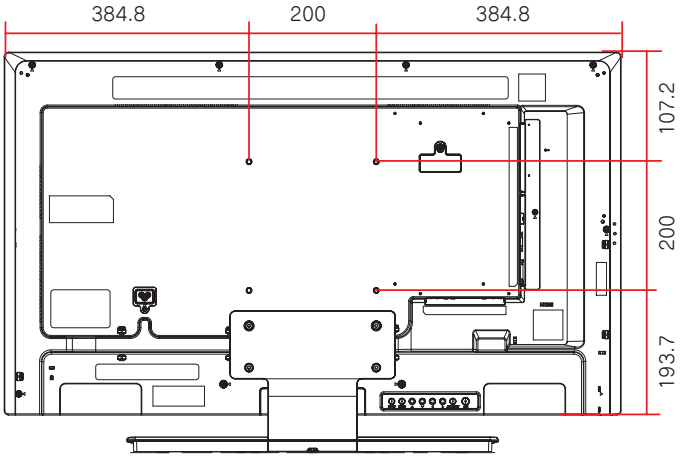
（単位：mm）



43SE3* 43SL5B

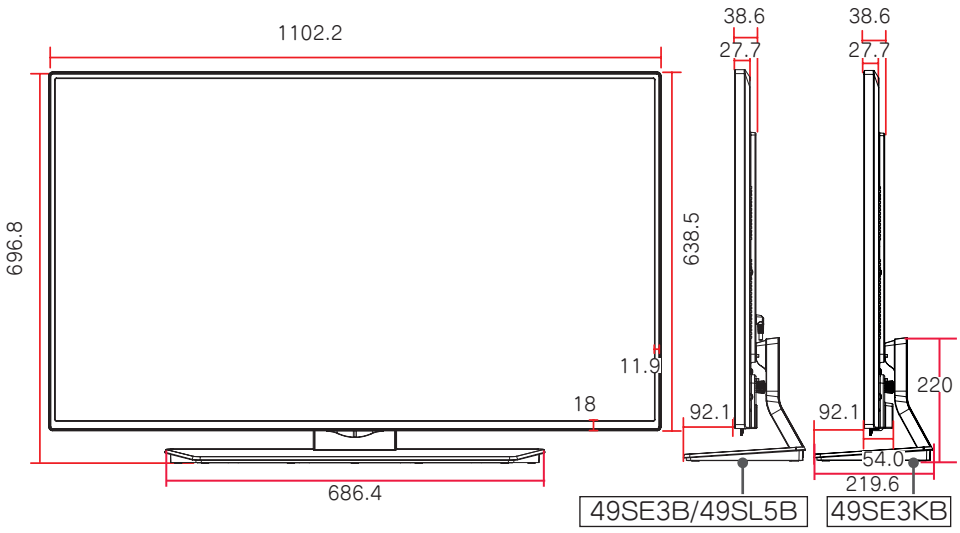
（単位：mm）

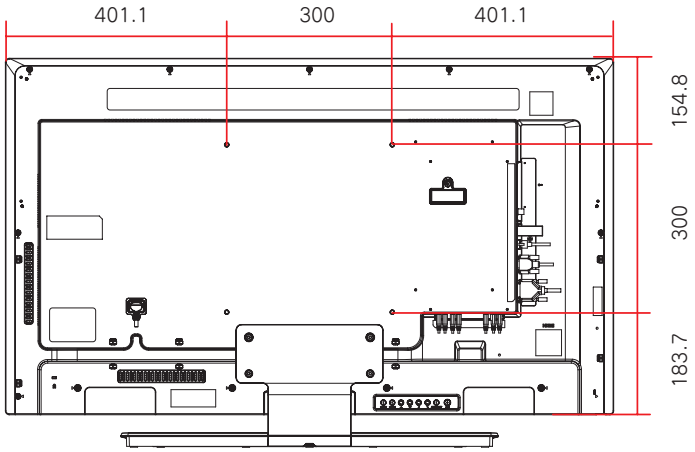




49SE3* 49SL5B

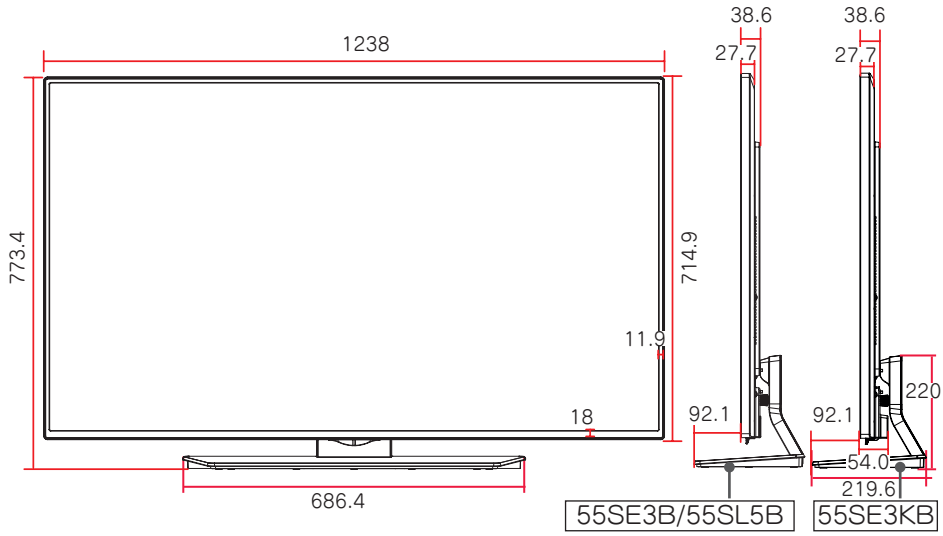
（単位：mm）

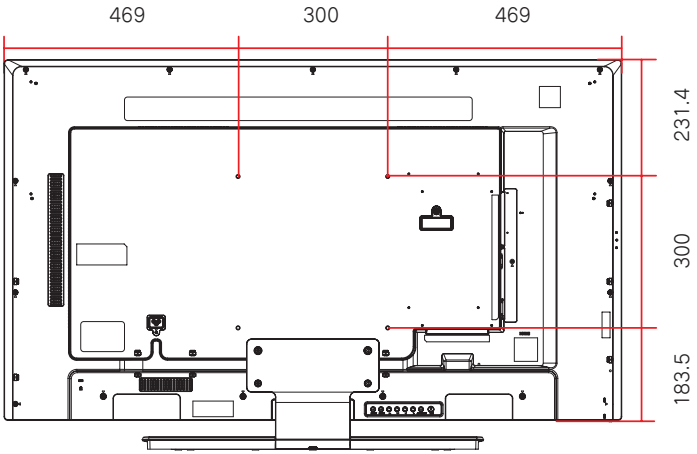




55SE3* 55SL5B

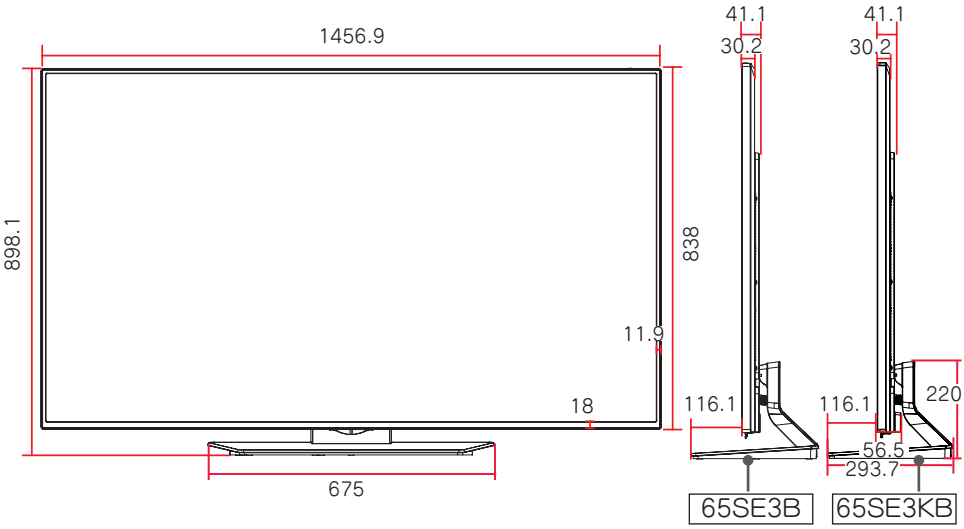
（単位：mm）

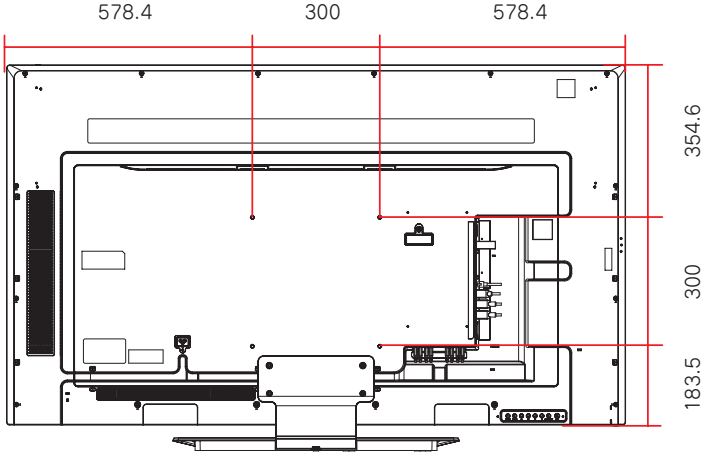




65SE3*

（単位：mm）


1456.9
898.1
838
11.9
18
675
41.1
30.2
116.1
41.1
30.2
116.1
220
56.5
293.7
65SE3B
65SE3KB


578.4
300
578.4
354.6
300
183.5

RGB（PC）サポートモード

解像度	水平 周波数 （kHz）	垂直 周波数 （Hz）
720 x 400	31.468	70.8
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60
1280 x 720	44.772	59.855
1280 x 960	60	60
1152 x 864	57.717	59.934
1280 x 1024	63.981	60.02
1920 x 1080	67.5	60

HDMI/DVI-D（PC）サポートモード

解像度	水平 周波数 （kHz）	垂直 周波数 （Hz）
640 x 480	31.469	59.94
800 x 600	37.879	60.317
1024 x 768	48.363	60
1280 x 720	44.772	59.855
1366 x 768	47.7	60
1280 x 1024	63.981	60.02
1680 x 1050	65.290	59.954
1920 x 1080	67.5	60

ヒント

- DVI-DまたはHDMI入力では、PC/DTVモードを任意に選択できます。 PCに接続する場合はPCモード、その他の機器に接続する場合はDTVモードを選択することをお勧めします。

HDMI/DVI-D（DTV）サポートモード

解像度	水平 周波数（kHz）	垂直 周波数（Hz）
480/60p	31.5	60
576/50p	31.25	50
720/50p	37.5	50
720/60p	45	60
1080/50i	28.1	50
1080/60i	33.75	60
1080/50p	56.25	50
1080/60p	67.5	60

ヒント

- RGBおよびHDMI/DVI-D入力モードで、入力ラベルオプションとして利用可能なPC解像度は、640 x 480/60 Hz、1280 x 720/60 Hz、1920 x 1080/60 Hz、DTV解像度は480p、720p、1080pです。
- 垂直周波数：本機は、蛍光灯のように、画面の映像を毎秒数十回切り替えることで機能します。 垂直周波数、つまり、リフレッシュレートは、1秒あたりの映像表示回数を表しています。 単位はHzです。
- 水平周波数：水平方向の間隔は、1本の横線を描画するためにかかる時間です。 1を水平方向の間隔で除算すると、水平周波数として、毎秒表示される横線の本数を表現できます。 単位はkHzです。

IRコード

- すべてのモデルがHDMI/USB機能をサポートしているわけではありません。
- モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

コード（16進）	機能	ヒント
08	⏻ Power	R/Cボタン
0B	INPUT	R/Cボタン
C4	MONITOR ON	R/Cボタン
C5	MONITOR OFF	R/Cボタン
95	ENERGY SAVING（eco）	R/Cボタン
DC	3D	R/Cボタン
10～19	数字キー0～9	R/Cボタン
53	1/a/A	R/Cボタン
2F	CLEAR	R/Cボタン
02	Volume ◿（+）	R/Cボタン
03	Volume ◿（-）	R/Cボタン
79	ARC	R/Cボタン
99	AUTO	R/Cボタン
09	MUTE	R/Cボタン
E0	BRIGHTNESS^（Page ↑）	R/Cボタン
E1	BRIGHTNESSˇ（Page ↓）	R/Cボタン
4D	PSM	R/Cボタン
AA	INFO ⓘ	R/Cボタン
5F	W.BAL	R/Cボタン
43	SETTINGS	R/Cボタン
40	Up ▲	R/Cボタン
41	Down ▼	R/Cボタン
07	Left ◄	R/Cボタン
06	Right ►	R/Cボタン
3F	S.MENU	R/Cボタン
44	OK	R/Cボタン
28	BACK	R/Cボタン
5B	EXIT	R/Cボタン
7E	SIMPLINK	R/Cボタン
7B	TILE（タイルモード）	R/Cボタン
B1	■	R/Cボタン
B0	▶	R/Cボタン
BA	⏸	R/Cボタン

コード（16進）	機能	ヒント
8F	◀◀	R/Cボタン
8E	▶▶	R/Cボタン
72	赤キー（映像IDオン）	R/Cボタン
71	緑キー（映像IDオフ）	R/Cボタン
63	黄キー	R/Cボタン
61	青キー	R/Cボタン

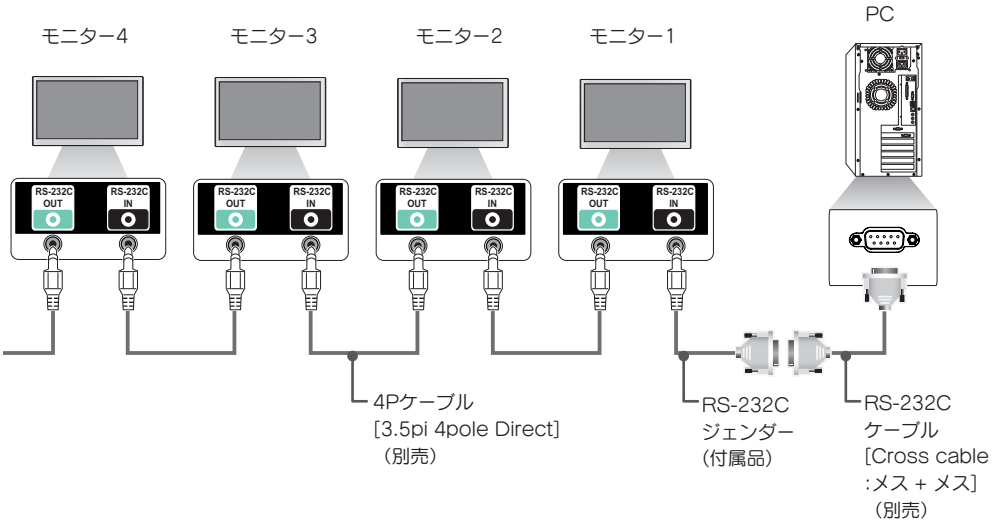
複数のモニターを制御するには

- この方法を使用して、複数のモニターを1台のPCに接続できます。 複数のモニターを1台のPCに接続することで、それらを一度に制御できます。
- [機器設定]メニューで、セットIDは1～255（または1～1,000）の範囲で、重複がないようにする必要があります。

ケーブルの接続

図のようにRS-232Cケーブルを接続します。

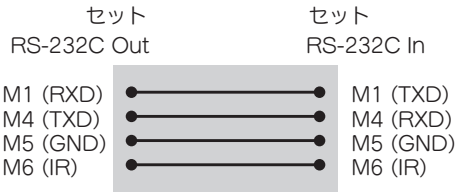
- PCとモニターの間の通信にはRS-232Cプロトコルが使用されます。 モニターの電源オン/オフ、入力元の選択、OSDメニューの調整をPCから操作できます。

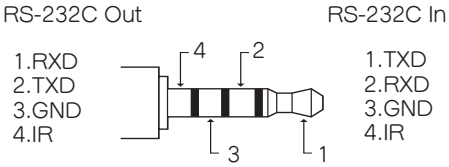


RS-232C構成

4Pケーブル

4線構成（標準RS-232Cケーブル）



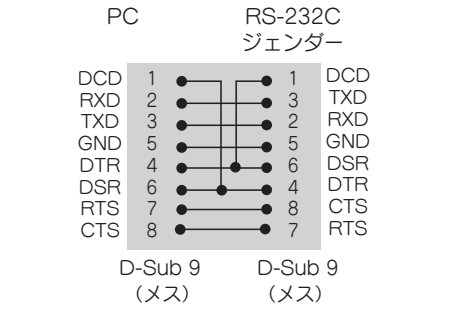


ヒント

- 3本の配線で接続している場合（非標準）、赤外線通信機能のデイジーチェーン接続は使用できません。
- 複数のユニットを同時に制御する場合、3.5 mm 4極ケーブル（別売り）を使用します。

RS-232Cケーブル

8線構成（標準RS-232Cケーブル）



通信パラメータ

- ボーレート：9600 BPS
- データ長：8ビット
- パリティビット：なし
- ストップビット：1ビット
- フロー制御：なし
- 通信コード：ASCIIコード
- クロス（リバース）ケーブル使用

コマンドリファレンスリスト

		コマンド		データ（16進）
		1	2	
01	電源	k	a	00～01
02	Select input（入力の選択）	x	b	「Select input（入力の選択）」を参照
03	画面サイズ	k	c	「画面サイズ」を参照
04	映像省エネ設定	j	q	「映像省エネ設定」を参照
05	映像モード	d	x	「映像モード」を参照
06	コントラスト	k	g	00～64
07	明るさ	k	h	00～64
08	シャープネス	k	k	00～32
09	色の濃さ	k	i	00～64
10	色合い	k	j	00～64
11	色温度	x	u	00～64
12	水平位置	f	q	00～64
13	垂直位置	f	r	00～64
14	水平サイズ	f	s	00～64
15	自動	j	u	01
16	バランス	k	t	00～64
17	サウンドモード	d	y	「サウンドモード」を参照
18	ミュート	k	e	00～01
19	音量コントロール	k	f	00～64
20	時刻1（年/月/日）	f	a	「Clock 1（時刻1）」を参照
21	時刻2（時/分/秒）	f	x	「Clock 2（時刻2）」を参照
22	オフタイマースケジュール	f	c	00～01
23	オンタイマーのスケジュール	f	b	00～01
24	オフタイマー（繰り返し/時刻）	f	e	「オフタイマー」を参照
25	オンタイマー（繰り返し/時刻）	f	d	「オンタイマー」を参照
26	オンタイマー入力	f	u	「オンタイマー入力」を参照
27	Automatic Standby（自動スタンバイ）	m	n	00～01
28	自動オフ	f	g	00～01
29	言語設定	f	i	「言語設定」を参照
30	リセット	f	k	00～02
31	現在の温度	d	n	FF
32	Key（キー）	m	c	「Key（キー）」を参照
33	経過時間を返す	d	l	FF

		コマンド		データ（16進）
		1	2	
34	製品シリアル番号	f	y	FF
35	ソフトウェアバージョン	f	z	FF
36	ホワイトバランス赤ゲイン	j	m	00～FE
37	ホワイトバランス緑ゲイン	j	n	00～FE
38	ホワイトバランス青ゲイン	j	o	00～FE
39	バックライト	m	g	00～64
40	映像オフ	k	d	00～01
41	タイルモード	d	d	「タイルモード」を参照
42	Tile Mode Check（タイルモードの確認）	d	z	FF
43	タイルID	d	i	「タイルID」を参照
44	タイルH（水平）位置	d	e	00～32
45	タイルV（垂直）位置	d	f	00～32
46	タイルH（水平）サイズ	d	g	00～32
47	タイルV（垂直）サイズ	d	h	00～32
48	ナチュラルモード（タイルモード）	d	j	00～01

ヒント

- DvixやEMFなどUSBでの動作時には、電源（k a）およびキー（m c）以外のすべてのコマンドは実行されず、NGとみなされます。
- モデルによっては一部のコマンドがサポートされません。
- 特定のコマンドのステータスを表示する‘f f’コマンドでは、SuperSignプログラムとの互換性を維持するため、OSDは表示されません。

送受信プロトコル

送信

[Command1][Command2][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

* [Command1] 初期設定およびユーザー設定モードを特定します。
* [Command2] モニターを制御します。
* [Set ID] 制御するセットの選択に使用されます。 Set IDは、[OSD]メニューの[OPTION（オプション）]で、1～255（01H～FFH）、または特定のモデルで1～1,000（001H～3e8H）の各セットに割り当てることができます。 Set IDに「00H」または「000H」を選択すると、すべての接続されたモニターを同時に制御できます。 （モデルによっては、サポートされていない場合があります）。
* [Data] コマンドデータを伝送します。
コマンドによってはデータカウントが増える場合があります。
* [Cr] キャリッジリターン。 アスキーコードの「0x0D」に対応しています。
* [ ] ホワイトスペース。 アスキーコードの「0x20」に対応しています。

アクノリッジメント

[Command2][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* 製品は、正常なデータを受信した場合に、この形式に基づいてACK（アクノリッジメント）を送出します。 このとき、データはFFである場合、現在のステータスデータを示します。 データはデータ書き込みモードになっている場合、PCコンピュータのデータを返します。
* コマンドがセットID「00」（=0x00）または「000」（=0x000）で送信された場合、データはすべてのモニターセットに反映され、すべてのモニターセットがアクノリッジメント（ACK）を送信します。
* データ値「FF」を制御モードでRS-232Cを介して送信すると、機能の現在の設定値をチェックできます（ただし一部の機能に限定）。
* モデルによっては、一部のコマンドがサポートされていない場合があります。

01. Power（電源）（コマンド：k a）
モニターの電源のオン/オフを制御します。

Transmission

[k][a][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* モニターセットの電源が完全にオンになっている場合のみ、Acknowledgement信号が正常に返されます。
* Transmission信号とAcknowledgement信号の間に遅延が発生することがあります。

02. Select input（入力の選択）（コマンド：x b）
入力信号を選択します。

Transmission

[x][b][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 60：RGB
70: DVI-D (PC)
80: DVI-D (DTV)
90：HDMI（HDMI1)(DTV)
91: OPS (DTV)
A0：HDMI（HDMI1)(PC)
A1: OPS (PC)
C0: DISPLAYPORT (DTV)
D0: DISPLAYPORT (PC)

Acknowledgement

[b][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* モデルによっては、一部の入力信号がサポートされていない場合があります。

03. Aspect ratio（画面サイズ）（コマンド：k c）
画面サイズを調整します。

Transmission

[k][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01: 4:3
02: 16:9
04: ズーム (HDMI)(DTV)
06：自動設定（HDMI）（DTV)
09：オリジナル（≥ 720p）（HDMI）（DTV)
10～1F：シネマズーム1～16 (HDMI) (DTV)

* 使用可能なデータタイプは、入力信号によって異なります。 詳細については、取扱説明書の画面サイズのセクションを参照してください。
* 画面サイズは、モデルの入力設定によって異なる場合があります。

Acknowledgement

[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

04. 省エネモード（コマンド：j q）
省エネモード機能を設定します。

Transmission

[j][q][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：オフ
01：最小
02：中
03. 最大
04：自動
05. スクリーンオフ

Acknowledgement

[q][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

05. 映像モード（コマンド：d x）
映像モードを選択します。

Transmission

[d][x][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：鮮明な映像
01：標準
02. シネマ
03. スポーツ
04：ゲーム
05：カスタムモード1
06：カスタムモード2
08：APS
11：キャリブレーション

Acknowledgement

[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

06. コントラスト（コマンド：k g）
画面のコントラストを調整します。

Transmission

[k][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：コントラスト0～100

Acknowledgement

[g][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

07. 明るさ（コマンド：k h）
画面の明るさを調整します。

Transmission

[k][h][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：明るさ0～100

Acknowledgement

[h][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

08. シャープネス（コマンド：k k）
画面のシャープネスを調整します。

Transmission

[k][k][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～32：鮮明度0～50

Acknowledgement

[k][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

09. カラー（コマンド：k i）
画面の色を調整します。

Transmission

[k][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：カラー0～100

Acknowledgement

[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

10. 色相（コマンド：k j）
画面の色合いを調整します。

Transmission

[k][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：色合いの赤50～緑50

Acknowledgement

[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

11. Color Temperature（色温度）（コマンド：x u）
画面の色温度を調整します。

Transmission

[x][u][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：暖色50～冷色50

Acknowledgement

[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

12. H（水平）位置（コマンド：f q）
画面の水平位置を調整します。
* この機能は、[タイルモード]が[オフ]に設定されている場合のみ決定です。
* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります。（RGB-PC入力のみ）

Transmission

[f][q][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：最小-50（左）～最大50（右）

Acknowledgement

[q][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

13. V（垂直）位置（コマンド：f r）
画面の垂直位置を調整します。
* この機能は、[タイルモード]が[オフ]に設定されている場合のみ決定です。
* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります。

（RGB-PC入力のみ）

Transmission

[f][r][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：最小-50（下）～最大50（上）

Acknowledgement

[r][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

14. H（水平）サイズ（コマンド：f s）
画面の水平サイズを調整します。
* この機能は、[タイルモード]が[オフ]に設定されている場合のみ決定です。
* 操作範囲は、RGB入力解像度により異なります。
（RGB-PC入力のみ）

Transmission

[f][s][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：最小-50（縮小）～最大50（拡大）

Acknowledgement

[s][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

15. Auto Configuration（自動画面調整）（コマンド：j u）
自動的に映像の位置を調整し、揺れを最小限に抑えます。
（RGB-PC入力のみ）

Transmission

[j][u][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01：実行

Acknowledgement

[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

16. サウンドバランス（コマンド：k t）
サウンドのバランスを調整します。

Transmission

[k][t][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：左50～右50

Acknowledgement

[t][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

17. 音響モード（コマンド：d y）
サウンドモードを選択します。

Transmission

[d][y][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01：スタンダード
02：音楽
03：映画
04：スポーツ
05. ゲーム
07. ニュース

Acknowledgement

[y][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

18. Mute（ミュート）（コマンド：k e）
サウンドをミュート/ミュート解除します。

Transmission

[k][e][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：ミュート
01：ミュート解除

Acknowledgement

[e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

19. Volume（音量制御）（コマンド：k f）
再生音量を調整します。

Transmission

[k][f][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：音量0～100

Acknowledgement

[f][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

20. Clock 1 (year/month/day)（時間1（年/月/日））（コマンド：f a）
時間1（年/月/日）の値を調整します。

Transmission

[f][a][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3][Cr]

Data1 00～1E：2010年～2040年
Data2 01～0C：1月～12月
Data3 01～1F：1日～31日
* "fa [Set ID] ff"を入力すると、時間1（年/月/日）の設定が表示されます。

Acknowledgement

[a][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

21. Clock 2 (hour/minute/second)（時間2（時/分/秒））（コマンド：f x）
時間2（時/分/秒）の値を調整します。

Transmission

[f][x][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3][Cr]

Data1 00～17：00～23時
Data2 00～3B：00～59分
Data3 00～3B：00～59秒
* "fx [Set ID] ff"を入力すると、時間2（時/分/秒）の設定が表示されます。
** この機能は、時間1（年/月/日）が設定されている場合のみ使用できます。

Acknowledgement

[x][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3][x]

22. オフタイマーのスケジュール（コマンド：f c）
オンタイマーのスケジュールの決定/無効を切り替えます。

Transmission

[f][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

23. On time schedule（オンタイマーのスケジュール）（コマンド：f b）
オンタイマーのスケジュールの決定/無効を切り替えます。

Transmission

[f][b][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[b][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

24. Off Timer(Repeat Mode/ Time)（オフ タイマー（繰り返しモード/時間））（コマンド：f e）
オフタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][e][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]

[Cr]

Data1
1. F1～F7（データ読み取り）
F1：1番目のオフタイマーデータを読み取り
F2：2番目のオフタイマーデータを読み取り
F3：3番目のオフタイマーデータを読み取り
F4：4番目のオフタイマーデータを読み取り
F5：5番目のオフタイマーデータを読み取り
F6：6番目のオフタイマーデータを読み取り
F7：7番目のオフタイマーデータを読み取り
2. E1～E7（インデックス1個を削除）、E0（すべてのインデックスを削除）
E0：すべてのオフタイマーデータを削除
E1：1番目のオフタイマーデータを削除
E2：2番目のオフタイマーデータを削除
E3：3番目のオフタイマーデータを削除
E4：4番目のオフタイマーデータを削除
E5：5番目のオフタイマーデータを削除
E6：6番目のオフタイマーデータを削除
E7：7番目のオフタイマーデータを削除
3. 01～0C（オフタイマーの曜日を設定）
00：オフ
01：1回
02. 毎日
03：月曜日～金曜日
04：月曜日～土曜日
05：土曜日～日曜日
06. 日曜日
07. 月曜日
08. 火曜日
09. 水曜日
0A. 木曜日
0B. 金曜日
0C. 土曜日
Data2 00～17：00～23時
Data3 00～3B：00～59分
* オフタイマーリストを読み取るか削除します。[Data2]と[Data3]にはFFHを設定します。
（例1：fe 01 f1 ff ff - 1番目のオフタイマーデータを読み取ります）
（例2：fe 01 e1 ff ff - 1番目のオフタイマーデータを削除します）
（例3：fe 01 04 02 03 - オフタイマーを「月曜日～土曜日、02:03」に設定します）
* この機能は、時間1（年/月/日）と時間2（時/分/秒）が設定されている場合のみ使用可能です.

Acknowledgement

[e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2]

[Data3][x]

25. On Timer(Repeat Mode/ Time)（オンタイマー（繰り返しモード/時間））（コマンド：f d）
オンタイマー（繰り返し/時刻）設定を構成します。

Transmission

[f][d][ ][Set ID][ ][Data1][ ][Data2][ ][Data3]

[Cr]

Data1
1. F1～F7（データ読み取り）
F1：1番目のオンタイマーデータを読み取り
F2：2番目のオンタイマーデータを読み取り
F3：3番目のオンタイマーデータを読み取り
F4：4番目のオンタイマーデータを読み取り
F5：5番目のオンタイマーデータを読み取り
F6：6番目のオンタイマーデータを読み取り
F7：7番目のオンタイマーデータを読み取り
2. E1～E7（インデックス1個を削除）、E0（すべてのインデックスを削除）
E0：すべてのオンタイマーデータを削除
E1：1番目のオンタイマーデータを削除
E2：2番目のオンタイマーデータを削除
E3：3番目のオンタイマーデータを削除
E4：4番目のオンタイマーデータを削除
E5：5番目のオンタイマーデータを削除
E6：6番目のオンタイマーデータを削除
E7：7番目のオンタイマーデータを削除
3. 01～0C（オンタイマーの曜日を設定）
00：オフ
01：1回
02. 毎日
03：月曜日～金曜日
04：月曜日～土曜日
05：土曜日～日曜日
06. 日曜日
07. 月曜日
08. 火曜日
09. 水曜日
0A. 木曜日
0B. 金曜日
0C. 土曜日
Data2 00～17：00～23時
Data3 00～3B：00～59分
* オフタイマーリストを読み取るか削除します。[Data2]と[Data3]にはFFHを設定します。
（例1：fd 01 f1 ff ff - 1番目のオンタイマーデータを読み取ります）
（例2：fd 01 e1 ff ff - 1番目のオンタイマーデータを削除します）
（例3：fd 01 04 02 03 - オンタイマーを「月曜日～土曜日、02:03」に設定します）
* この機能は、時間1（年/月/日）と時間2（時/分/秒）が設定されている場合のみ使用可能です。

Acknowledgement

[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2]

[Data3][x]

26. On timer input（オンタイマー入力）（コマンド：f u）
新しいスケジュールエントリを追加するには、現在のオンタイマー設定の入力を選択します。

Transmission

[f][u][ ][Set ID][ ][Data1][Cr]

[f][u][ ][Set ID][ ][Data1][Data2][Cr]

Data（スケジュールの追加）
60：RGB
70：DVI-D
90：HDMI（HDMI1）
91: OPS (DTV)
C0: DISPLAYPORT (DTV)

Data1
1. f1h～f7h（データ読み取り）
F1：1番目のスケジュール入力元を選択
F2：2番目のスケジュール入力元を選択
F3：3番目のスケジュール入力元を選択
F4：4番目のスケジュール入力元を選択
F5：5番目のスケジュール入力元を選択
F6：6番目のスケジュール入力元を選択
F7：7番目のスケジュール入力元を選択

Data2
1. ffh（データ読み取り）
* スケジュール入力を読み取るには、[Data2]にFFHと入力します。
スケジュールデータを読み取るか変更しようとしたときに、[Data1]のスケジュールがない場合、テキスト「NG」が表示され、操作は失敗します。
（例1：fu 01 60 - 既存のスケジュールエントリをそれぞれ1行下に移動して、1番目のスケジュールエントリの入力元としてRGBを保存します）
（例2：fu 01 f1 ff - 1番目のスケジュール入力データを読み取ります）
* この機能は、1（年/月/日）、2（時/分/秒）、オンタイマー（繰り返しモード/時間）が設定されている場合のみサポートされます。
** モデルによっては、入力がサポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

[u][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][x]

** モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

27. Automatic standby（自動スタンバイ）（コマンド：m n）
自動スタンバイ設定を構成します。

Transmission

[m][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data　00：オフ（4/6/8時間後のオフなし）
01：4時間（4時間後にオフ）
02：6時間（6時間後にオフ）
03：8時間（8時間後にオフ）

Acknowledgement

[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

28. Auto off（自動オフ）（コマンド：f g）
自動オフ設定を構成します。

Transmission

[f][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data　00：オフ（15分後のオフなし）
01：オン（15分後にオフ）

Acknowledgement

[g][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

29. Language（言語）（コマンド：f i）
OSD言語を設定します。

Transmission

[f][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data　00：チェコ語
01：デンマーク語
02：ドイツ語
03：英語
04：スペイン語（ヨーロッパ）
05：ギリシャ語
06：フランス語
07：イタリア語
08：オランダ語
09：ノルウェー語
0A：ポルトガル語
0B：ポルトガル語（ブラジル）
0C：ロシア語
0D：フィンランド語
0E：スウェーデン語
0F：韓国語
10：中国語（広東語）
11：日本語
12：中国語（普通話）

Acknowledgement

[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

30. Reset（リセット）（コマンド：f k）
映像、画面、およびオーディオの設定をリセットするか、工場出荷時の設定に戻します。
（画面のリセットは、RGB入力モードでのみ実行可能です）

Transmission

[f][k][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：映像リセット
01：画面リセット
02：リセット（工場出荷状態へリセット）

Acknowledgement

[k][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

31. Current temperature（現在温度）（コマンド：d n）
内部の温度値を確認します。

Transmission

[d][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF：ステータスを確認

Acknowledgement

[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2]

[Data3][x]

*温度は16進数値として表示されます。

32. キー（コマンド：m c）
IRリモコンのキーコードを送信します。

Transmission

[m][c][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data IR_KEY_CODE

Acknowledgement

[c][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

キーコードについては、「IRコード」を参照してください。
* モデルによっては一部のキーコードがサポートされません。

33. Time elapsed（経過時間）（コマンド：d l）
経過時間を確認します。

Transmission

[d][l][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF：ステータスの読み取り

Acknowledgement

[l][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* 受信したデータは16進数値として表示されます。

34. Product serial number（製品シリアル番号）（コマンド：f y）
製品のシリアル番号を確認します。

Transmission

[f][y][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF：製品のシリアル番号を確認

Acknowledgement

[y][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* データはASCIIコードです。

35. Software version（ソフトウェアバージョン）（コマンド：f z）
ソフトウェアバージョンを確認します。

Transmission

[f][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF：ソフトウェアバージョンを確認します。

Acknowledgement

[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

36. White balance red gain（ホワイトバランス赤ゲイン）（コマンド：j m）
ホワイトバランス赤ゲインの値を調整します。

Transmission

[j][m][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～FE：赤ゲイン0～254

Acknowledgement

[m][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

37. White balance green gain（ホワイトバランス緑ゲイン）（コマンド：j n）
ホワイトバランス緑ゲインの値を調整します。

Transmission

[j][n][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～FE：緑ゲイン0～254

Acknowledgement

[n][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

38. White balance blue gain（ホワイトバランス青ゲイン）（コマンド：j o）
ホワイトバランス青ゲインの値を調整します。

Transmission

[j][o][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～FE：青ゲイン0～254

Acknowledgement

[o][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

39. Backlight（バックライト）（コマンド：：m g）
バックライトの明るさを調整します。

Transmission

[m][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～64：バックライトの明るさ0～100

Acknowledgement

[g][][set ID][][OK/NG][Data][x]

** モデルによっては、この機能はサポートされていない場合があります。

40. Screen off（画面オフ）（コマンド：k d）
画面の電源のオンとオフを切り替えます。

Transmission

[k][d][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：画面の電源をオンにします。
01：画面の電源をオフにします。

Acknowledgement

[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

41. タイルモード（コマンド：d d）
タイルモードおよびタイル列/行の値を設定します。

Transmission

[d][d][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～FF：第1バイト - タイル行
第2バイト - タイル列
*00、01、10、11はタイルモードがオフであることを意味します。
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[d][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

42. Tile Mode Check（タイルモードの確認）（コマンド：d z）
タイルモードのステータスを確認します。

Transmission

[d][z][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data FF：タイルモードのステータスを確認
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[z][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data1][Data2][Data3]

[x]

Data1 00：タイルモードオフ
01：タイルモードオン
Data2 00～0F：タイル行
Data3 00～0F：タイル列

43. タイルID（コマンド：d i）
タイルIDを設定します。

Transmission

[d][i][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 01～E1: タイルID 01～225**
FF：タイルIDを確認
** （タイル列）x（タイル行）を超えるデータは設定できません。
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[i][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

* 0xFFを除き、データが（タイル列）x（タイル行）を超えるとNGが返されます。

44. Tile H Position（タイルH（水平）位置）（コマンド：d e）
タイルの水平位置を調整します。
* この機能は、タイルモードが[オン]の状態で、タイルモードの[ナチュラル]オプションが[オフ]に設定されている場合のみ決定です。

Transmission

[d][e][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～32：-50（左）～0（右）
* 左/右の値はタイルの水平サイズに応じて異なります。
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[e][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

45. タイルV（垂直）位置（コマンド：d f）
タイルの垂直位置を調整します。
* この機能は、タイルモードが[オン]の状態で、タイルモードの[ナチュラル]オプションが[オフ]に設定されている場合のみ決定です。

Transmission

[d][f][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 0～32：0（下）～50（上）
* 上/下の値はタイルの垂直サイズに応じて異なります。
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[f][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

46. タイルH（水平）サイズ（コマンド：d g）
タイルの水平サイズを調整します。
* タイルの水平サイズを設定する前に、タイルの水平位置を0x32に設定します。
* この機能は、タイルモードが[オン]の状態で、タイルモードの[ナチュラル]オプションが[オフ]に設定されている場合のみ決定です。

Transmission

[d][g][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～32：0～50
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[g][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

47. タイルV（垂直）サイズ（コマンド：d h）
タイルの垂直サイズを調整します。
* タイルの垂直サイズを設定する前に、タイルの垂直位置を0x00に設定します。
* この機能は、タイルモードが[オン]の状態で、タイルモードの[ナチュラル]オプションが[オフ]に設定されている場合のみ決定です。

Transmission

[d][h][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00～32：0～50
** モデルによっては、サポートされていない場合があります。

Acknowledgement

[h][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

48. ナチュラルモード（タイルモード時）（コマンド：d j）
映像を自然に表示するために、モニタ間の隙間に通常は表示される映像の部分が省略されます。

Transmission

[d][j][ ][Set ID][ ][Data][Cr]

Data 00：オフ
01：オン

Acknowledgement

[j][ ][Set ID][ ][OK/NG][Data][x]

ヒント

- 32/43/49/55/65SE3Bおよび 32/43/49/55/65SE3KBは、EPAの ENERGY STARでは認定されていません。

This product qualifies for ENERGY STAR®.
Changing the factory default configuration and settings or enabling certain optional features and functionalities may increase energy consumption beyond the limits required for ENERGY STAR® certification.
Refer to ENERGYSTAR.gov for more information on the ENERGY STAR® program.

製品を使用する前に必ず安全上のご注意をお読みください。
製品のモデルとシリアル番号は背面と側面にあります。保守が必要になった場合に備えて下記にご記入ください。

モデル _____

シリアル _____

この製品に含まれるGPL、LGPL、MPLのソースコード、およびその他のオープンソースのライセンスを取得するには、*http://opensource.lge.com*をご覧ください。
ソースコードに加えて、言及されているすべてのライセンス条項、免責条項、および著作権に関する通知もダウンロード可能です。
LG Electronicsでは、ソースコードを収録したCD-ROMを有償（CD-ROM代、送料、取扱手数料など含む）にて提供しています。ご希望される場合は、*opensource@lge.com*まで電子メールでご連絡ください。 このサービスは、製品をご購入いただいた日から3年間決定です。

本機はビジネス用(A級)の電磁波適合機器です。販売者またはユーザーはこの点に注意し、家庭以外の場所で使用してください。

この機器の電源をオンまたはオフにすると、通常、一時的なノイズが発生します。